

いのちをつなぐ

SARAYA

サラヤ持続可能性レポート



We are committed to the SDGs!

Sustainability Report 2021



SUSTAINABLE DEVELOPMENT GOALS



We are committed to the SDGs!

はじめに

「我々は、世界を持続的かつ強靱（レジリエント）な道筋に移行させるために緊急に必要な、大胆かつ変革的な手段をとることを決意している（我々の世界を変革する:持続可能な開発のための2030アジェンダ、前文より引用）」。サラヤは、衛生設備が整っていなかった第二次世界大戦後の日本で、薬用手洗い石けん液とディスペンサーを開発し供給すると同時に、職場や学校、公共施設を起点に日本全国に手指衛生を普及させました。このSDG3の3.1及び3.2、3.3のターゲットにおいて、手指衛生は感染予防の最も重要かつ基本的な手段です。

サラヤは、今ウガンダを起点に東アフリカに手指衛生を普及させる事業をビジネスと社会貢献の2つの道から進めています。本報告書は、すべてのステークホルダーに向けて、サラヤの持続可能な商品の開発、世界の衛生や生物多様性の保全に貢献するためのビジネスと社会貢献の取り組みをSDGsの15の目標について記載したものです。最新のデータと共にそこに至った過程もご理解いただくために記載しております。ご質問・ご要望などございましたら、<sustainability@saraya.com>にお寄せください。https://www.saraya.com/csr/report/にアンケートもお寄せいただけますようお願い申し上げます。

編集方針

ガイドライン

「GRI サステナビリティ レポートینگガイドライン」及環境省「環境報告ガイドライン(2018年度版)」を参考に内容を構成しております。

対象期間

データの集計期間は、当社の決算期である2019年11月から2020年10月としております。報告の活動内容は同期間を基本としておりますが、それ以前や以降の内容、写真が含まれています。

集計対象事業所

・国内は以下の全事業所を対象としております。

サラヤ株式会社
東京サラヤ株式会社
スマイル産業株式会社

・海外は以下を対象としております。

Saraya MFG. (Thailand) Co., Ltd
Saraya (Dongguan) Hygiene Products Co., Ltd.

発行履歴

2002年7月、発行開始より年1回発行。
次号発行は2022年夏を予定しております。

インターネットでの公開

サラヤホームページ上にも持続可能性レポートのPDFデータを公開しております。

日本語版 <https://www.saraya.com/csr/report/>
英語版 <https://saraya.world/images/sections/sustainability/SustainabilityReport2021.pdf>

もくじ

| | |
|---------------------------------|----|
| トップコミットメント | 2 |
| サラヤのサステナビリティ | 4 |
| サラヤの原点は手洗い | 5 |
| SDGs ターゲットとサラヤ | 6 |
| SDG 3 すべての人に健康と福祉を | 8 |
| 東アフリカでの衛生向上プロジェクト | 8 |
| Farm to table | 9 |
| 運動と栄養を通じた健康づくり | 11 |
| サラヤの健康経営 | 12 |
| SDG 4 質の高い教育をみんなに | 13 |
| サラヤの企業理念を未来のおとなたちへ | 13 |
| SDG 5 ジェンダー平等を実現しよう | 14 |
| 女性のエンパワーメントの推進 | 14 |
| SDG 6 安全な水とトイレを世界中に | 15 |
| ソホロ | 15 |
| SDG 7 エネルギーをみんなに、そしてクリーンに | 16 |
| 100%持続可能なエネルギーの利用を目指して | 16 |
| SDG 8 働きがいも経済成長も | 17 |
| ワーク・ライフ・バランス | 17 |
| SDG 9 産業と技術革新の基盤をつくろう | 18 |
| 急速凍結技術の活用と運用による次世代の“食”の創造への取り組み | 18 |
| SDG 10 人や国の不平等をなくそう | 20 |
| ダイバーシティ推進 | 20 |
| グローバルな人材とともに | 21 |
| SDG 11 住み続けられるまちづくりを | 22 |
| レジリエンスなまちづくりと地域に愛される企業へ | 22 |
| SDG 12 つくる責任つかう責任 | 23 |
| サプライチェーン | 23 |
| キナバタンガン下流域の持続可能なアブラヤシ栽培を支援 | 25 |
| サーキュラーエコノミーの実現に向けて | 26 |
| SDG 13 気候変動に具体的な対策を | 27 |
| 環境マネジメントシステム | 27 |
| カーボンニュートラルの社会の実現を目指して | 28 |
| SDG 14 海の豊かさを守ろう | 29 |
| ブルーオーシャンプロジェクト | 29 |
| SDG 15 陸の豊かさを守ろう | 30 |
| 生物多様性ホットスポット | 30 |
| マレーシア・サバ州での環境保全プロジェクト | 31 |
| ボルネオ保全トラスト | 32 |
| エジプトで生命の源たる土地の回復に挑む | 33 |
| SDG 16 平和と公正をすべての人に | 34 |
| ガバナンスとステークホルダー | 34 |
| SDG 17 パートナリシップで目標を達成しよう | 35 |
| サラヤ本町事務所内にウガンダ共和国在大阪名誉領事館を開設 | 35 |
| 会社概要 | 36 |

トップ コミットメント

2019 年末に始まった新型コロナウイルス感染症は、オミクロン株の出現もあり、残念ながら今まだ収束していません。そしてコロナ禍を通じて、社会が大きく変化しています。コロナ禍の変化に対して、サラヤも俊敏に手を打って、劇的変化に対応していきます。いくつかの対応を、トップコミットメントとしてご紹介します。

(1) プラスチック海洋汚染への対応

2021 年に関西経済同友会の環境・エネルギー委員会で、対馬を訪問し、プラスチック海洋汚染の現状を視察し、比田勝市長を始め市の幹部と意見交換もさせていただきました。対馬市の統計によれば、対馬に毎年 20000 – 30000 m³ のプラスチック海洋ゴミが、島の海岸に押し寄せるようで、漂着物を見れば中国語や韓国語のロゴの付いたペットボトルも数多く混じっていました。統計によれば、中国から年間 353 万トン、インドネシアは 129 万トン、ベトナムからは 73 万トン、フィリピンからは 75 万トンなど、多くのプラスチックが川や海に投棄され、それが海に流れ、海流に乗って日本にたどり着き、更には北太平洋からハワイ沖まで流れて行きます。対馬のゴミを見れば、サンダルを打ち出した後のウレタンシートや注射器など明らかな産業廃棄物も混じっていました。海は繋がっているのです、ある国のゴミは別の国のゴミとなって、生物や環境に大きな影響を与えています。この問題は看過できません。ピカピカの海を次世代に残すため、われわれは努力したいと思います。サラヤもこの問題に直接かわり、また関連会社の(株)関西再資源ネットワークや、また私が理事長をしております NPO 法人ゼリ・ジャパンを通じて、今後具体的な対応をはかります。

(2) 気候非常事態ネットワークの設立と フォローアップ、地球温暖化ガスの削減

2020 年 11 月 18 日に、NPO 法人ゼリ・ジャパンが事務局を務め、気候非常事態ネットワークが設立されました。このネットワークにより、①気候変動の認識 ②二酸化炭素など温暖化ガスの抑制 ③地方自治体や市民運動の醸成 ④ビジネス提案とソリューションの提供等を推進します。サラヤは NPO 法人ゼリ・ジャパン支援しながら、気候変動の認識を広め、温暖化



サラヤ株式会社
代表取締役社長

東京サラヤ株式会社
代表取締役会長

更家 悠介

ガスの削減の運動を広げます。もちろんサラヤ(株)自体においても、ソーラーの活用など、温室効果ガスの削減に努めます。

(3) 感染管理、コロナ蔓延時の活動、 ポストコロナに向けて

コロナの蔓延に対して、その予防のための現場分析や研究支援を行いました。コロナを境に、感染管理に対する市民の関心が高まりました。当社的手指消毒剤は、エビデンス・ベーストをモットーにして適正な商品を市場に供給します。このため大阪大学微生物研究所との連携を強化します。また感染リスクを減らすため、ディスペンサーの自動化ニーズにもどんどん対応してまいります。

また、一時的に手指消毒剤が枯渇する中で、感染予防のために、国内外の一部のお客様にアルコール手指消毒剤やその他の寄付を行いました。

2020 年の供給不足の反省を踏まえ、サプライチェーンの強化のため、関東に医薬品工場を建設することを決めました。2021 年の 12 月に着工をいたします。完成は 2023 年の春の予定です。この新工場の設立により、関東方面の手指消毒剤の生産が増強され、備蓄倉庫の拡充と共に、急激な需要拡大に対する備えが充実いたします。また大阪の堺市には、国産のマスク工場をつくり、2022 年の 3 月頃竣工の予定です。このことにより、海外からの輸入を補完でき、マスクにおいてもサプライチェーンの強化を図ります。更に、中国では合併会社を設立し、2022 年の春から稼働予定です。これによりニトリル手袋の生産増強ができることで、サプライチェーンの強化を図ります。また使い捨てプラスチックガウンですが、プラスチックの消費を抑えるため、新撥水素材を活用した 300 回以上洗って使用できる感染防止用ガウンを開発しました。これは、2021 年の 12 月から市場に投入します。

(4) サラヤのグローバル展開と衛生・環境・健康事業の展開

サラヤの衛生商品の普及のため、海外活動を強化します。2022年春にはエジプト工場、2022年夏にはチュニジアに工場の竣工を目指します。また市場に向けて、感染を予防するため、海外向けの自動ディスペンサーの開発を行い、普及を目指します。

またアメリカのユタ州に、ラカントや関連低糖質食品を製造する工場を建設していますが、2022年の春から稼働する予定です。健康的な食品を提供することで、アメリカの方々の健康生活に貢献をいたします。

またイギリスにおいては、孫会社のEREが農業廃棄物や食品廃棄物からメタンを作り、これを発電や燃料にする事業を展開しております。この実証的事業を検証して、2022年度以降日本や世界に普及する事業を展開します。

(5) その他、健康事業、ケニアにおける水開発

ビタレーザ、コトフ、カンカラカンなどの新事業、オーラルケアステーション本町歯科やサンビア伊賀、丹後フーズ、ベジブルキッチン、神宮前らん・果、フォワードなどの、食や運動に関連する事業により、体のチェック、また栄養と運動を通じて、健康や予防の新事業を拡充・展開します。

またケニアでは、井戸を掘り、住民に安全でおいしい水をお届けするパイロット事業を行いました。コロナ禍の制限がある中ですが、これを総括し、2022年以降に繋げたいと思います。

これらの種々の事業を通じて、サラヤの事業目的である「世界の衛生、環境、健康の改善すること」を、2022年以降も継続して力強く行うことを宣言いたします。



対馬市の海岸の状況 黄色は一般男性



2020年11月18日に開催の気候非常事態ネットワーク設立総会



2022年3月竣工予定のアメリカ工場

| 寄付団体 | | 寄付金 |
|---|--|---|
| 大阪市東住吉区中野中学校 | サラヤジェル (アルコール手指 消毒用ジェル) SH 250ml 2,125本(1本/生徒) | ジェル無償出荷合計 民間企業：6億8,000万円 公的機関：3,000万円 |
| 南百済小学校 | | |
| 鷹合小学校 | | |
| 東田辺小学校 | | |
| 湯里小学校 | | |
| 公益財団法人 大阪府育英会 | | 2,000万円 |
| 大学院大阪大学・金沢大学・浜松医科大学・千葉大学・福井大学 連合小児発達学研究所 「先端治療・栄養学」寄附講座 | | 1,000万円 |
| 大阪大学創立90周年・大阪外国語大学創立100周年記念事業 | | 500万円 |
| 大阪大学未来基金 | | 300万円 |
| 慶応義塾大学 システムデザイン・マネジメント研究科 研究開発への寄付 | | 150万円 |
| 大阪大学歯学部・歯学研究科建物改修事業基金 | | 100万円 |
| 計：7億5,050万円 | | |

2021年の主な寄付先

| 寄付先(予定) | 寄付本数 | 寄付金 | |
|-------------|----------|----------|-----------|
| ベトナム | 143,500本 | 3,444万円 | |
| ユニセフ関連 | コモロ | 529,430本 | 1億9,562万円 |
| | マラウイ | | |
| | カメルーン | | |
| | ジョージア | | |
| 計：2億3,006万円 | | | |

2021年のサラヤジェルSH1の主な寄付先



農業・食品廃棄物を活用したイギリスでの再生可能エネルギー事業



ケニアでのパイロット事業

苦労の末、良質な水が大量に噴き出した歓喜の瞬間。子供たちも大喜び!

サラヤのサステナビリティ

サラヤグループ サステナビリティの基本的な考え方について

サラヤは、2015年までの種々の活動を、SDGsに編成し直して、SDGsの達成を事業の目標と結び付けて運用をしています。ことにSDGsは、社会・経済・環境の3側面においてバランス良く統合された形で達成されることが大切で、経済のみならず、事業の社会性や環境へのインパクトに配慮し、また環境改善を事業に取り込むことを目指しています。サラヤは、このSDGsの達成を目指して、従来の「TQM推進本部方針／TQM活動方針」及び「環境方針」とビジネスの基本理念を統合し、「サステナビリティ推進方針」として制定し、運用をいたします。

サステナビリティ推進方針

サラヤのミッションは、世界の衛生・環境・健康の向上に貢献することです。この達成には経済のみならず、社会・経済・環境の側面が必要で、当社のみならず、NPOなど種々の団体や関連会社などを通じて、この実践と目標達成を目指します。持続可能な社会の達成に向けては、温室効果ガス発生抑制、海洋プラスチック汚染の防止、生物多様性の減少への歯止め、抗生物質への耐性菌の出現(AMR)への対応があり、さらに格差の拡大や政治的不安定など多くの問題が山積しています。

微力で小さな一歩であっても、サラヤは国内外のネットワークを活用して、衛生・環境・健康の面からより良い商品とサービスをご提供し、そしてビジネスを通じてSDGsの達成に貢献できるような事業を發展させます。そして今、社会・経済・環境で入り組んだ諸課題に、効果的に取り組むことを経営方針に、SDGs目標達成を推進方針にあげて、社内外全体でその達成に努力いたします。

行動指針

サラヤグループのサステナビリティ推進のための行動指針を以下に定めます。

1. 事業活動を通して社会的課題を解決
起業の精神を継承し、ソーシャル・ビジネスとして社会問題解決のニーズを掘り起こし、新しい市場ニーズの発見とそのニーズに対応できるソリューションを提案し、具現します。
2. 社会との信頼関係の構築
すべての利害関係者とのコミュニケーションを深め、責任ある対話とともに社会のニーズや期待を受け止め、対応を実践することにより強固な信頼関係を構築します。
3. 真のグローバル企業の確立とガバナンス強化によるサステナビリティ経営の実現
競争分野より、ニッチ分野でグローバルな生産と営業体制の確立を目指します。また、グローバル・ガバナンスを各種コミュニケーション手段の駆使によって強化します。公平性及び透明性のあるサステナビリティ経営を実現します。
4. 地球環境の保全、資源の持続可能な活用を目指した新商品の開発、新事業の創設、バリューチェーン、事業活動マネジメントの強化
地球温暖化対策、生物多様性及び生態系の保全、資源リサイクル・リユーズ・リデュースの3Rをめざし、地球環境の保全を考慮しながら事業活動を行います。また途上国の新生児や妊産婦の死亡率の削減など、SDGsの各ゴールに貢献する商品を開発し、諸事業を推進します。また2050年には、再生可能エネルギー活用100%を目指して、計画を開始します。
また、取扱商品のサプライチェーンの資源利用状況を把握し、持続可能なバリューチェーンの構築を目指します。それら運用管理の

ための仕組みであるマネジメントシステムを有効活用し、事業のマネジメント強化と詳細なガバナンスの開示を行います。

5. サステナビリティ推進に対する従業員教育の実施
「サステナビリティ推進」を実践するのは、グループ構成員である全従業員の一人ひとりです。一人ひとりがSDGsを理解し、社会的課題解決認識を醸成できるよう、従業員教育を行います。そこで「サステナビリティ推進方針」に基づき本来業務を通してTQMのフレームワークを活用し、それぞれの部門で目標達成を果たします。

2019年(令和元年)5月1日

サラヤ株式会社
代表取締役社長

更家 悠介



専務取締役
サステナビリティ推進本部
本部長
更家 一徳

サラヤの原点は手洗い

伝統と革新の融合で未来を拓く

日本で赤痢が流行していた 1952 年に創業した弊社が、新型コロナウイルス感染症が世界的に蔓延している真最中に翌年が創業 70 周年を迎えることに、なにか宿命的なものを感じます。

当時の「手洗い石けん液」と「専用容器」のセットは、弊社の研究開発者が改良改善を重ねた「手指衛生剤」と「オートディスペンサー」に生まれ変わり、たくさんのユーザーの感染予防に貢献しています。創業の原点である「押出・押し式石けん容器」は不特定多数に使用いただくための「衛生の工夫」がなされており、この伝統は今のノータッチ式オートディスペンサーの開発精神につながっています。

巧みに人間の生活に入り込んだ、このステルス型の感染性ウイルスはたった数か月で世界中にまん延し人々を「不安」に陥れました。弊社研究所ではユーザーに近いポジションで寄り添うことを伝統としており、「安心」いただくための方策として BSL (=Bio Safety Level) 2、3 レベルの高度な実験が可能な施設にて（大

阪大学微生物研究所ホームページより）「ホンモノの新型コロナウイルス」で弊社品をサラヤ・微生物研究センターの研究者が大阪大学微生物病研究所の協力のもと評価しました。伝統的な「薬液+装置」に、エビデンスと企画・表現力を導入し新たな価値創造にチャレンジを続けていきます。

サラヤ・微生物研究センター（大阪大学微生物研究所）にて



並んだ石けん液容器とパールパーム石けん液

コロナ禍は、さまざまな変化をもたらしました。公衆衛生が見直され、基本的な感染対策なしに経済活動はできなくなりました。ディスペンサーは単に薬液を適量排出する装置から、時に優れたデザイン性を求められ、高頻度に人が接触する媒体へと変化を見せ始めています。さらに、デジタル化技術を高度化し顔認証と手指消毒を誘導するスマートディスペンサーは、従業員の出勤記録、手指衛生の順守率、防犯などへの可能性もあります。これまでインストールした数万台を超える個々のディスペンサーは、将来的には「つながる」ことで革新的な価値が創造できます。



「つながる」という意味では、健康の分野でも個人のバイタル情報をアプリで集約し、価値ある情報に翻訳・変換してお客様にフィードバックする開発活動もしています。適切な食品（栄養）を適切なタイミングで、そして適度に運動を促すことで健康維持・未病に役立っていただくサービスが提供できればと考えています。楽しく食事をするには口腔ケアも大切です。日本で 400 万人が罹患しているとも言われる歯周病対策で“健口維持”の開発も進んでいます（出典1）。そして、「いつも美しくりたい」・・・そんな欲求を満たすべくスキ

ンケアサイエンスにも力を入れています。

最後に、環境の分野です。ちょうど COP26（第 26 回気候変動枠組条約締約国会議）が終わり、日本は「化石賞」をいただきました。ひとつの地球、限りある資源の中で、環境保全と経済発展の両立はとても難しい課題です。人間が生み出した人工物の総量が、地球上の生物の量を上回った（出典2）とも言われます。この人の世を「人新世」（ひとしんせい、英 Anthropocene）と呼ぶ人もいます。当研究所では、天ぷらなどに使用して廃棄される植物油（廃食油）を「国産の資源」と捉え、廃食油から SOFORO を発酵生産させることに成功しています（UpCycle SOFORO）（出典3）。商品開発部門では廃材などを混ぜたプラスチック容器の可能性を検討しています。

世界の衛生・環境・健康に貢献すべく、伝統と革新の融合で未来を拓ける、格式高いそんな商品開発本部門でありたいと思います。

出典

1. 天野敦雄「長生きしたい人は歯周病を治しなさい」2021年10月20日 文春新書
2. 人間が生み出した人工物の総量が、地球上の生物の量を上回った <https://wired.jp/2020/12/25/all-the-stuff-humans-make-now-outweighs-earths-organisms/>
3. Y. Hirata et al., 廃食油からの高度ソホロリピッド発酵生産 2021年7月24日(BCL独自論文)

取締役 商品開発本部長
兼 バイオケミカル研究所長
平田 善彦





SDGsターゲットとサラヤ

※持続可能性レポートに掲載していない
取り組みはサラヤホームページの
サステナビリティをご覧ください。▶



| | SDGsの目標とターゲット(外務省仮訳) | サラヤの取り組み | 掲載頁 |
|--|---|---|------------|
| 目標 1. あらゆる場所のあらゆる形態の貧困を終わらせる | | | |
| 1.2 | 2030年までに、各国定義によるあらゆる次元の貧困状態にある、すべての年齢の男性、女性、子どもの割合を半減させる。 | 羅漢果農家、ホホバ栽培 | 9, 33 |
| 目標 2. 飢餓を終わらせ、食料安全保障及び栄養改善を実現し、持続可能な農業を促進する | | | |
| 2.3 | 2030年までに、土地、その他の生産資源や、投入財、知識、金融サービス、市場及び高付加価値化や非農業雇用の機会への確実かつ平等なアクセスの確保などを通じて、女性、先住民、家族農家、牧畜民及び漁業者をはじめとする小規模食料生産者の農業生産性及び所得を倍増させる。 | Wild AsiaからのRSPOクレジット購入によるスモール・ホルダー支援 | 25 |
| 2.4 | 2030年までに、生産性を向上させ、生産量を増やし、生態系を維持し、気候変動や極端な気象現象、干ばつ、洪水及びその他の災害に対する適応能力を向上させ、漸進的に土地と土壌の質を改善させるような、持続可能な食料生産システムを確保し、強靱(レジリエント)な農業を実践する。 | 株式会社シモンドに出資、ホホバオイル商品の販売 | 33 |
| 目標 3. あらゆる年齢のすべての人々の健康的な生活を確保し、福祉を促進する | | | |
| 3.1 | 2030年までに、世界の妊産婦の死亡率を出生10万人当たり70人未満に削減する。 | | |
| 3.2 | すべての国が新生児死亡率を少なくとも出生1,000件中12件以下まで減らし、5歳以下死亡率を少なくとも出生1,000件中25件以下まで減らすことを目指し、2030年までに新生児及び5歳未満児の予防可能な死亡を根絶する。 | ウガンダとケニアでの活動、サラヤ セーフ マザーフード プロジェクト | なし* |
| 3.3 | 2030年までに、エイズ、結核、マラリア及び顧みられない熱帯病といった伝染病を根絶するとともに肝炎、水系感染症及びその他の感染症に対処する。 | | |
| 3.8 | すべての人々に対する財政リスクからの保護、質の高い基礎的な保健サービスへのアクセス及び安全で効果的かつ質が高く安価な必須医薬品とワクチンへのアクセスを含む、ユニバーサル・ヘルス・カバレッジ(UHC)を達成する。 | ウガンダとケニアでの活動、Farm to table、運動と栄養を通じた健康づくり、サラヤの健康経営 | 8-12 |
| 3.d | すべての国々、特に開発途上国の国家・世界規模な健康リスクの早期警告、リスク緩和およびリスク管理のための能力を強化する。 | | |
| 目標 4. すべての人に包摂的かつ公正な質の高い教育を確保し、生涯学習の機会を促進する | | | |
| 4.7 | 2030年までに、持続可能な開発のための教育及び持続可能なライフスタイル、人権、男女の平等、平和及び非暴力的文化の推進、グローバル・シチズンシップ、文化多様性と文化の持続可能な開発への貢献の理解の教育を通して、全ての学習者が、持続可能な開発を促進するために必要な知識及び技能を習得できるようにする。 | 広報、宣伝、社内教育、イベント・講演会登壇、出張授業 | 13, 34 |
| 目標 5. ジェンダー平等を達成し、すべての女性及び女児の能力強化を行う | | | |
| 5.1 | あらゆる場所におけるすべての女性及び女児に対するあらゆる形態の差別を撤廃する。 | 女性活躍リーディングカンパニー2020 | |
| 5.5 | 政治、経済、公共分野でのあらゆるレベルの意思決定において、完全かつ効果的な女性の参画及び平等なリーダーシップの機会を確保する。 | 大阪府認証、人事制度、RSPO原則6基準6.8 | 14 |
| 目標 6. すべての人々の水と衛生の利用可能性と持続可能な管理を確保する | | | |
| 6.3 | 2030年までに、汚染の減少、投棄の廃絶と有害な化学物や物質の放出の最小化、未処理の排水の割合半減及び再生利用と安全な再利用の世界的規模で大幅に増加させることにより、水質を改善する。 | カーボン・バランス、ソホロ | 15 |
| 6.6 | 2020年までに、山地、森林、湿地、河川、帯水層、湖沼を含む水に関連する生態系の保護・回復を行う。 | ボルネオ保全トラスト支援、ホホバ栽培 | 30-33 |
| 6.b | 水と衛生に関わる分野の管理向上への地域コミュニティの参加を支援・強化する。 | 100万人の手洗いプロジェクト | なし* |
| 目標 7. すべての人々の、安価かつ信頼できる持続可能な近代的エネルギーへのアクセスを確保する | | | |
| 7.1 | 2030年までに、安価かつ信頼できる現代的エネルギーサービスへの普遍的アクセスを確保する。 | | |
| 7.2 | 2030年までに、世界のエネルギーミックスにおける再生可能エネルギーの割合を大幅に拡大させる。 | 100%持続可能なエネルギーを目指して | 16 |
| 7.3 | 2030年までに、世界全体のエネルギー効率の改善率を倍増させる。 | EMS(環境マネジメントシステム) | 27 |
| 目標 8. 包摂的かつ持続可能な経済成長及びすべての人々の完全かつ生産的な雇用と働きがいのある人間らしい雇用(ディーセント・ワーク)を促進する | | | |
| 8.5 | 2030年までに、若者や障害者を含むすべての男性及び女性の、完全かつ生産的な雇用及び働きがいのある人間らしい仕事、ならびに同一労働同一賃金を達成する。 | 子育てサポート、サラヤチャイルドステーション(企業主導型保育園)、ダイバーシティ推進、サラヤの健康経営 | 12, 17, 20 |
| 8.7 | 強制労働を根絶し、現代の奴隷制、人身売買を終らせるための緊急かつ効果的な措置の実施、最悪な形態の児童労働の禁止及び撲滅を確保する。2025年までに児童兵士の募集と使用を含むあらゆる形態の児童労働を撲滅する。 | RSPO原則6 基準6-9, 12-13、ハラスメント相談窓口 | 24, 34 |
| 8.8 | 移住労働者、特に女性の移住労働者や不安定な雇用状態にある労働者など、すべての労働者の権利を保護し、安全・安心な労働環境を促進する。 | | |
| 8.9 | 2030年までに、雇用創出、地方の文化振興・産品販促につながる持続可能な観光業を促進するための政策を立案し実施する。 | 新チルド冷凍調理システム | 18, 19 |
| 目標 9. 産業と技術革新の基盤をつくろう | | | |
| 9.4 | 2030年までに、資源利用効率の向上とクリーン技術及び環境に配慮した技術・産業プロセスの導入拡大を通じたインフラ改良や産業改善により、持続可能性を向上させる。すべての国々は各国の能力に応じた取組を行う。 | 東アフリカ及び国内のコールドチェーン、新チルド冷凍調理システム | 8, 18, 19 |
| 目標 10. 各国内及び各国間の不平等を是正する | | | |
| 10.2 | 2030年までに、年齢、性別、障害、人種、民族、出自、宗教、あるいは経済的地位その他の状況に関わりなく、すべての人々の能力強化及び社会的、経済的及び政治的な包摂を促進する。 | ダイバーシティ経営企業100選、障がい者雇用、グローバルな人材活用 | 20, 21 |
| 目標 11. 包摂的で安全かつ強靱(レジリエント)で持続可能な都市及び人間居住を実現する | | | |
| 11.a | 各国・地域規模の開発計画の強化を通じて、経済、社会、環境面における都市部、都市周辺部及び農村部間の良好なつながりを支援する。 | SEMA、品川区のまちづくり、茨城県との連携協定 | 22 |

サラヤが取り組んでいるSDGsの目標(goal)とターゲット



サラヤのサプライチェーンを通じた取り組みにおけるSDGsの目標とターゲットのフロー図。SDG3とSDG12が共に4ヶ所があり、次いでSDG15が3ヶ所にある。

| | SDGsの目標とターゲット(外務省仮訳) | サラヤの取り組み | 掲載頁 |
|---|--|------------------------------|-----------|
| 目標 12. 持続可能な生産消費形態を確保する | | | |
| 12.2 | 2030年までに天然資源の持続可能な管理及び効率的な利用を達成する。 | RSPO認証油の使用 | 24, 25 |
| 12.3 | 2030年までに小売・消費レベルにおける世界全体の一人当たりの食料の廃棄を半減させ、収穫後損失などの生産・サプライチェーンにおける食料の損失を減少させる。 | 東アフリカ及び国内のコールドチェーン | 8, 18, 19 |
| 12.4 | 2020年までに、合意された国際的な枠組みに従い、製品ライフサイクルを通じ、環境上適正な化学物質やすべての廃棄物の管理を実現し、人の健康や環境への悪影響を最小化するため、化学物質や廃棄物の大気、水、土壌への放出を大幅に削減する。 | ソホコ、EMS | 15, 27 |
| 12.5 | 2030年までに、廃棄物の発生防止、削減、再生利用及び再利用により、廃棄物の発生を大幅に削減する。 | EMS、プラスチック削減への取り組み | 26, 27 |
| 12.6 | 特に大企業や多国籍企業などの企業に対し、持続可能な取り組みを導入し、持続可能性に関する情報を定期報告に盛り込むよう奨励する。 | サステナビリティレポート | |
| 12.7 | 国内の政策や優先事項に従って持続可能な公共調達を促進する。 | グリーン購入 | 35 |
| 12.8 | 2030年までに、人々があらゆる場所において、持続可能な開発及び自然と調和したライフスタイルに関する情報と意識を持つようにする。 | サステナビリティレポート、サラヤホームページ他 | |
| 12.a | 開発途上国に対し、より持続可能な消費・生産形態の促進のための科学的・技術的能力の強化を支援する。 | ウガンダとケニアでの支援 | 8 |
| 目標 13. 気候変動及びその影響を軽減するための緊急対策を講じる | | | |
| 13.1 | 全ての国々において、気候関連災害や自然災害に対する強靭性(レジリエンス)及び適応の能力を強化する。 | SEMA | 22 |
| 13.2 | 気候変動対策を国別の政策、戦略及び計画に盛り込む。 | EMS、クリーンエネルギー | 27, 28 |
| 目標 14. 持続可能な開発のために海洋・海洋資源を保全し、持続可能な形で利用する | | | |
| 14.1 | 2025年までに、海洋堆積物や富栄養化を含む、特に陸上活動による汚染など、あらゆる種類の海洋汚染を防止し、大幅に削減する。 | プラスチック海洋汚染の防止、ブルーオーシャンプロジェクト | 29 |
| 目標 15. 陸域生態系の保護、回復、持続可能な利用の推進、持続可能な森林の経営、砂漠化への対処、土地の劣化の阻止・回復、生物多様性の損失を阻止する | | | |
| 15.1 | 2020年までに、国際協定の下での義務に則って、森林、湿地、山地及び乾燥地をはじめとする陸域生態系と内陸淡水生態系及びそれらのサービスの保全、回復及び持続可能な利用を確保する。 | | |
| 15.2 | 2020年までに、あらゆる種類の森林の持続可能な経営の実施を促進し、森林減少を阻止し、劣化した森林を回復し、世界全体で新規植林及び再植林を大幅に増加させる。 | ボルネオ保全トラスト支援 | 30-32 |
| 15.3 | 2030年までに、砂漠化に対処し、砂漠化、干ばつ及び洪水の影響を受けた土地などの劣化した土地と土壌を回復し、土地劣化に荷担しない世界の達成に尽力する。 | 株式会社シモンドに投資、ホホバオイル商品の販売 | 33 |
| 15.5 | 自然生息地の劣化を抑制し、生物多様性の損失を阻止し、2020年までに絶滅危惧種を保護し、また絶滅防止するための緊急かつ意味のある対策を講じる。 | ボルネオ保全トラスト支援 | 30-33 |
| 目標 16. 持続可能な開発のための平和で包摂的な社会を促進し、すべての人々に司法へのアクセスを提供し、あらゆるレベルにおいて効果的説明責任のある包摂的な制度を構築する | | | |
| 16.7 | あらゆるレベルにおいて、対应的、包摂的、参加型及び代表的な意思決定を確保する。 | ガバナンス | 34 |
| 目標 17. 持続可能な開発のための実施手段を強化し、グローバル・パートナーシップを活性化する | | | |
| 17.16 | すべての国々、特に開発途上国での持続可能な開発目標の達成を支援すべく、知識、専門的知見、技術及び資金源を動員、共有するマルチステークホルダー・パートナーシップによって補完しつつ、持続可能な開発のためのグローバル・パートナーシップを強化する。 | 加盟団体との連携 | 35 |



すべての人に健康と福祉を

東アフリカでの衛生向上プロジェクト

ケニア SARAYA KITCHEN LAB.プロジェクト

食品衛生のプロフェッショナルとして、HACCP 導入や衛生指導などグローバル企画の食品衛生管理をトータルにサポートしてきた経験を生かし、ケニアに食品衛生システムを導入した共有業務用キッチンを提供するプロジェクト「SARAYA KITCHEN LAB.」が、2020年に経済産業省補助事業「第5回飛び出せ Japan!」に採択されました。

そしてその翌年 2021 年には、ケニアのナイロビにシェアキッチンがオープンしました。食品事業者のインキュベーション施設として、施設、設備をレンタルするビジネスの展開を予定しており、サラヤの急速凍結装置を含む調理器具・設備、および電解水生装置、洗剤・消毒剤を含む皿や衛生製品を使っただきながら、日本レベルの食品衛生が組み込まれた食品加工のプロモーションを進めていきます。またポップアップレストランやセントラルキッチン、メニュー開発、料理教室、食品衛生セミナー、自然派甘味料ラカントのプロモーションなど多目的な活用も進める予定をしています。



SARAYA KITCHEN LAB. の外観と設備

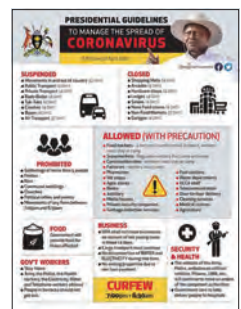
ウガンダ COVID-19の製品供給への影響

新型コロナウイルス感染症の発生後、ウガンダでは陽性者ゼロの時点からロックダウンを開始しました。空港は閉鎖され、公共交通機関や車の使用は禁止されたため、タクシーパーク（乗り合いタクシー広場）からは一時期車が1台もなくなり、閑散としていました。2020年3～4月の新型コロナパニック時に転売業者

が暗躍し、アルコール消毒剤の市場価値が5倍以上に高騰しました。テレビや新聞の報道ではサラヤ製品が一番に取り上げられ、大バッシングにつながりました。4月の頭に製品が欠品したことも相まって、事務所にも一般客が連日押し寄せるため、電気を消して入り口ガラス戸を紙で覆い、社用車からはサラヤロゴを取り外すなど、スタッフ全員身の危険を感じながらもできる限りの対応に努めました。また新聞広告を掲載し、値上げを行っていない旨を説明することにもなりました。その後6月には量産体制も安定し始め、現在では順調に製品供給を進めています。

ウガンダ政府の方針により増加した新規参入業者に対抗して安定した供給能力を示す為、国際連合工業開発機関 (UNIDO) の「開発途上国の感染症対策に関する技術移転事業」より採択を受け、サラヤ本社のサポートを受けながら、今年の8月から自動充填ラインの稼働が開始されました。これにより、これまでマニュアル作業であったウガンダ工場の生産能力を従来の20倍に引き上げるとともに、その余力で他社にない商品ライン拡充を図り、ウガンダでのポジションをさらに強固なものにすることを目的としています。

またウガンダでは将来的に「感染対策のサラヤ」としての地位を確立するため、工場の拡大や手指衛生のエキスパートを養成するイベント等の開催を計画しています。



政府から出された禁止事項



タクシーパーク (左: 新型コロナ発生前/右: ロックダウン発令後)



自動充填ラインでの製造作業の様子



Farm to table

創業者と羅漢果に関する思い

ラカント シリーズの原料である羅漢果は、中国のチワン自治区の桂林市永福県付近に自生していたウリ科の植物で、桂林市で栽培されている作物です。サラヤは1998年に中国桂林市と共同ビジネスの契約（羅漢果甘味料開発プロジェクト覚書調印式）を交わしました。当時中国はまだ貧しく、創業者がこの当時の桂林農民の貧しさに非常に同情し、「羅漢果は桂林で栽培される植物だ。日本の企業が進出して、これを独占してはいけない。会社の利益よりも、桂林を活性化させ農民の生活を向上させることを第一義な目的としてビジネス展開すればよい」と決断しました。日本国内でのみ特許登録しましたが、国際的には技術開放しました。今ではアメリカでもモンクフルーツとして羅漢果は人気ですが、これがそのはじまりです。現在サラヤ USA のアメリカ市場でのラカントの売上は非常に堅調で、既に日本国内を上回りました。

安心・安全な食を提供する品質管理

サラヤは、羅漢果の持続可能な利用のために農薬使用などについて栽培方法をコントロールできるように農家と契約を交わしています。契約農家が生産している羅漢果は、厳しい農薬管理のもとで栽培されています。

サラヤが2015年に桂林市に設立した桂林工場（桂林莎羅雅生物技術有限公司）では、高品質で安全な羅漢果エキスを抽出し、ラカントシリーズ商品の原料を供給しています。徹底したトレーサビリティのもと原料の生産から製造まで管理しています。

桂林工場では2020年9月7日、大阪工場では2021年6月7日に食品安全認証の国際規格のFSSC22000（Food Safety System Certification）を認証取得しました。FSSC22000を認証取得することにより、国内外の消費者へ安全・安全な食品を提供する為に、食品安全のマネジメントシステムを強化して参ります。



中央が創業者更家章太、その右更家悠介（サラヤ社長） 当時1998年



羅漢果畑と収穫された羅漢果



羅漢果契約農家



桂林莎羅雅生物技術有限公司（左）と管理・研究棟（右）



大阪工場 食品安全チームメンバー

日本初のカロリーゼロ甘味料

石けんや洗剤などを製造・販売するサラヤがカロリーゼロの甘味料を開発した背景には、創業から続く「予防」の理念がありました。創業当時、流行する感染症を防ぐために手を洗うと同時に殺菌・消毒ができる薬用石けん液「シャボネット」を開発したように、高度成長期には感染症に代わって糖尿病をはじめとする生活習慣病が増加した際、生活習慣病に注意する食生活のニーズに合わせて開発したのが、カロリーゼロの自然派甘味料「ラカント」シリーズです。

今では当たり前に見かけるカロリーゼロの甘味料ですが、実は日本で初めての製品化したのがラカントです。開発コンセプトは“人工甘味料を使用しない”“カロリーゼロ”“使用量の換算不要”“加熱調理に使える”という、使う人の安心と利便性を考慮したものでした。

原料調達から商品化、食卓まで安心をお届け

カロリーゼロ、さらに糖類もゼロのラカントは、カロリーや糖質などの摂取制限のある方だけでなく、ダイエットや美容・健康に感心の高い幅広い層に広がっていきました。さらに、近年では、世界的に化学合成による人工甘味料が敬遠されるようになったことから、天然素材でカロリーゼロの甘味料のニーズが拡大しています。アメリカではこれまでも、砂糖のかわりに使われる代替甘味料が多く使われてきましたが、安全性の高い天然由来の甘味料に関心が集まり、長寿の神果として古くから漢方原料としても親しまれてきた果実「羅漢果」からつくられたラカントの需要が大きく伸びています。

サラヤでは、世界に向けた品質確保と安定供給のために自社工場で一貫して製造。羅漢果抽出エキスは日本やアメリカに運ばれ、厳しい品質管理のもと各国の工場最終製品へと加工され、みなさまの食卓へ届けられます。

神宮前 らかん・果

「神宮前 らかん・果」は、ラカントと天然素材を最大限に活かすことで、からだにやさしいお食事をご提供するカフェ & ダイニングです。調理に砂糖は使用せず、カロリーゼロの自然派甘味料ラカントを使用することで、通常のお食事より糖質を抑えたメニューをご用意いたします。

旬の食材をふんだんに使用したおばんざいランチは、糖質40g以下。気兼ねなくお召し上がりいただきながら、糖質を抑えられるからだにやさしいセットです。ディナーはアラカルトメニューに加え、コースを通して糖質40g以下のロカボコースもご用意。その他、お惣菜や甘味のテイクアウト販売も対応しています。

ファンマーケティングとDX

日本のラカントプロモーションでは、20年前からブランドの成り立ちや商品特徴的を丁寧にコミュニケーションをすることで「顧客」ではなく、「ファン」を作り、「ブランドカルチャーの共創」を図る「ファンマーケティング」を行ってきました。そして5年前からDXを推進し、WEBやSNS、インフルエンサーを活用したコミュニケーションとプロモーションを強化した結果、ここ数年のSNS環境変化からファン自身がブランドに関する情報発信を行うことで新たな顧客を獲得するという流れが加速してきました。一例としては昨今のコロナ自粛の折、数多くのファンたちだけではなく、影響力のあるyoutuberや料理家、アイドルなどのインフルエンサーなどもラカントファンとしてレシピ動画を投稿してくれました。これはインフルエンサーに対しても、ラカントブランドの魅力が伝わっていた結果です。現在、ラカントのSNSアカウントは日本の食品アカウントの中でも上位にランクされる存在になりましたが、今後も丁寧なコミュニケーション継続していきます。



カロリーゼロの自然派甘味料「ラカントS」



コース料理で糖質40gの「ロカボコース」



「神宮前 らかん・果」の外観



20代、30代の女性から支持を集めるラカント公式 Instagram

3 すべての人に
健康と福祉を

運動と栄養を通じた健康づくり

ヘルスケア事業本部の立ち上げ

サラヤでは2019年11月にヘルスケア事業本部を立ち上げ、「運動・栄養」を通して、心身とも日々の健やかな生活を支える健康促進、生涯現役社会を構築する事業を推進しています。

メディカルフィットネス事業

メディカルフィットネスとは予防医学の考え方から生まれたフィットネスであり、食生活や運動習慣を変えることで健康でいきいきと人生を歩んでいただくことを目的にしています。

医学的管理のもと有疾患か健康かを問わず、利用者の健康状態を踏まえた運動プログラムをご提供します。また安全かつ効果的に、楽しく運動に取り組んでいただける様に専門のスタッフがサポートしています。

メディカルフィットネス「ビタレーザ」の店舗運営を、三重県伊賀市（2019年12月オープン）、大阪府吹田市（2021年3月オープン）と2店舗で展開しています。

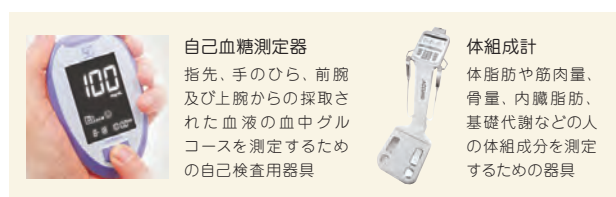
吹田市の「ビタレーザラボ」では、大阪大学大学院医学系研究科とコンディション・健康の維持・向上に関する共同研究を行っています。

また、「おいしい、楽しい、からだ想い」を体験いただく「ビタレーザキッチン」を併設、メディカルフィットネスご利用者のその日の健康状態や目標に合わせたヘルシーメニューをご提供しています。

今後、ビタレーザでは、呼吸改善、食事生活改善、生活スタイル改善を行う睡眠改善プログラムのご提供をする予定です。また、認知症改善のアプリ開発、健康講座及び運動プログラムのご提供や行政の健康づくり出前講座の講師として派遣を行い、更なる健康づくり促進となるサービス構築に努めて参ります。

ヘルスケアプラットフォーム開発

ヘルスケアプラットフォーム構築に向けて、様々なアプリおよび健康機器を組み合わせて、ヘルスケアサービスを提供し、お客様の要望にお応えします。



自己血糖測定器
指先、手のひら、前腕及び上腕からの採取された血液の血中グルコースを測定するための自己検査用器具

体組成計
体脂肪や筋肉量、骨量、内臓脂肪、基礎代謝などの人の体組成成分を測定するための器具

組み合わせ可能な健康機器（一例）



メディカルフィットネスのトレーニングの様子



メディカルフィットネスの対象者



ビタレーザのロゴマーク



ビタレーザキッチン
「おいしい、楽しい、からだ想い」をコンセプトに店舗運営だけでなく、健康食の開発にも取り組んでいます。
※ビタレーザラボ（1階）



2021年3月にオープンしたビタレーザキッチンとビタレーザラボ



サラヤの健康経営

サラヤの健康経営の取り組み

世界の「衛生・環境・健康」に貢献することを使命としているサラヤは、これまでお客様の信用に支えられ、「衛生・環境・健康」の分野で強いリーダーシップを発揮してきました。まさに「健康」はサラヤのルーツでもあり、商品・サービス展開において主軸のテーマでもあります。同時に従業員やその家族の「健康」は会社の健全な成長を支える大切な基盤であると考えます。

さらに「健康」とは単に「病気になるない」という事だけではなく、「病気にかかっても健やかに安心して暮らせること」でもあり、「どんな人も今より健やかな心身を目指せること」であると捉え、最終的には「人として豊かな自己の能力や個性を実現できる事」=「well-beingな状態」へ導くことと考えます。

従業員一人ひとりの well-being の実現が、サラヤの成長を推進する力になり、そのサラヤが関わらせていただく世界の人々の「健康」に貢献できるよう「健康経営」に取り組みます。

サラヤグループ健康経営宣言

サラヤは、世界の「衛生・環境・健康」に貢献することを企業理念に掲げています。当社の従業員に対しても、当社が持つ「衛生」「健康」に対する多様なノウハウや機能を活用し、健康づくりを推進し、事業活動を通じて世界の人々の健康づくりに貢献する企業として今後の発展を目指すべく、ここに健康経営宣言をいたします。

サラヤ株式会社 代表取締役社長
東京サラヤ株式会社 代表取締役会長

更家 悠介

従業員一人ひとりのWell-being実現に向けた重点項目

サラヤグループでは企業成長の促進のため、従業員をWell-beingな状態へと導く環境整備を行なっております。そこでその達成度合いを客観的にはかるために下記項目を定点観測する事としています。

▶ ストレスチェック結果における「健康リスク値」

従業員にとって「健康で働きやすい職場であるか」を確認するために「健康リスク値」を観測します。

| 総合健康リスクA×B/100 | 2019年度 | 2020年度 | 2022年度目標 |
|----------------|--------|--------|----------|
| サラヤ | 105 | 106 | 90 |
| 東京サラヤ | 92 | 98 | 90 |

※「健康リスク」は厚生労働省の標準プログラムで提供されている数値で、現在の職場のストレス要因がどの程度従業員の健康に影響を与える可能性があるかという目安になるものです。全国平均を100とし、どの程度高いか低いかを比較します。100を下回れば全国平均よりリスクは低く、100を上回れば全国平均よりリスクが高いと考えられます。一般的に120を超えると健康問題が顕在化してくる可能性が高いとされています。

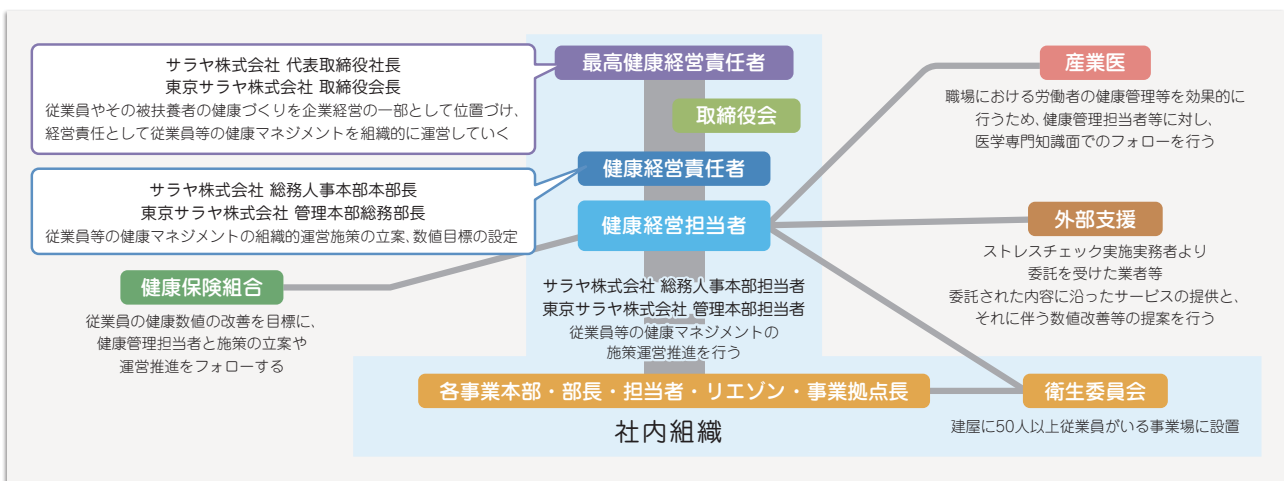
▶ ストレスチェック結果における「働きがいの値」

従業員が「仕事に対して興味、関心、適性を感じられているか、イキイキと働いているか」を確認するため「働きがいの値」を観測します。

| 働きがい5段階数値 | 2019年度 | 2020年度 | 2022年度目標 |
|-----------|--------|--------|----------|
| サラヤ | 2.9 | 3.0 | 3.5 |
| 東京サラヤ | 3.0 | 3.0 | 3.5 |

※5段階数値は厚生労働省による全国調査データと比較し算出します（点数が低いほど高ストレスと判断）。

Well-being実現に向けた取り組みを行っています ▶



健康経営の社内推進体制



質の高い教育をみんなに

サラヤの企業理念を未来のおとなたちへ

JICA関西主催SDGs学習プログラムに参画

2021年9月16日、大阪市立新巽中学校とJICA関西主催のSDGs学習プログラムに参画しました。新巽中学校の中学2年生が、SDGsに取り組む関西の協力企業を1社選び、ウェブ上で交流を図るプログラムです。

サラヤは6名の生徒に対し、RSPOとボルネオ環境保全活動を事例にSDGsを中心に話しました。サラヤが創業から、ビジネスを通して社会課題の解決を目指してきたことが図らずもSDGsの考え方と共通していたこと、テレビ番組の取材をきっかけに知ったボルネオのプランテーションや熱帯雨林の実状、そして今日までのRSPOやボルネオ保全トラストを通じた持続可能な資源調達や環境保全活動について伝えました。

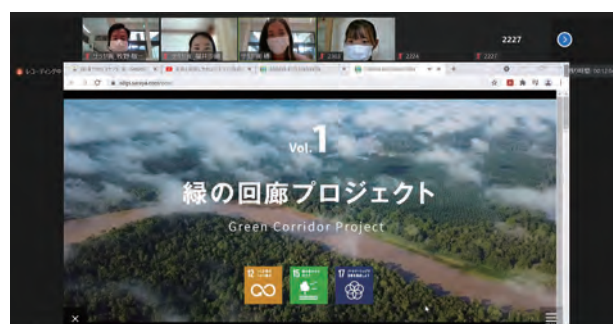
生徒さんは一様に、これらの問題が遠い他国のできごとではなく、今自分たちの日々の生活を支えるなかで起こっていることを理解し、真摯に受け止められていました。

またディスカッションでは、SDGs目標14「海の豊かさを守ろう」や目標16「平和と公正をすべての人に」に殊に興味をもち、プラスチック袋の有料化をきっかけに、海洋ごみに占めるプラスチック袋の割合を調べると、0.3%と少量で驚いたことを話してくれました。海洋ごみ削減のために何ができるかを模索されている姿から、SDGsを積極的に自分たちの問題として捉えていることに驚き、感心しました。

当社からは、中学生のうちから世界規模の課題について学び、

考える機会がある環境が特別で素晴らしいこと、サステナブル商品を選ぶことでできる「貢献」があること、そしてSDGsの特定の目標に興味をもったきっかけを大事にしてほしいことを伝えました。

当社にとってもSDGsの生きた学びに触れ、大きな刺激を受けた交流となりました。



新巽中学校 生徒の皆さんとのオンライン授業

ドリームジョブ

2020年11月24日に品川区立城南小学校の「ドリームジョブ」に参加しました。当社から2名の従業員が小学校6年生を対象に約2時間かけて企業の事業紹介や、自分自身の仕事に関する考え方や思いを話しました。

小学生の皆さんが、将来の『働く』ということについて考える為のイベントでしたので、会社の中で色々な役割(職種)があることや、具体的な仕事内容、仕事のやりがい・大変さなどをお話致しました。また、質疑応答の中でコロナ禍の感染対策の意識を高めていただくお話もさせていただきました。小学生からは、話題の手洗いの歌を披露していただき、学校内における感染対策の意識の高さを感じる時間となりました。





ジェンダー平等を実現しよう

女性のエンパワーメント推進

機会均等

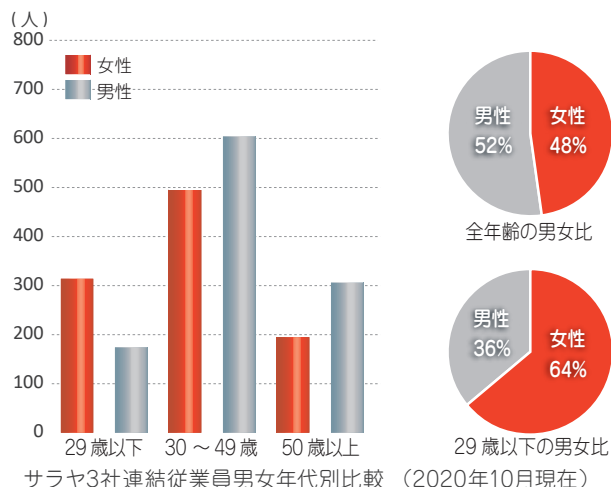
サラヤでは男女同一賃金はもとより、採用、昇格、昇給、人材配置、教育研修機会など性別による制度上の差別はなく、内在的な差別も未然に防ぐよう努力しています。性別にかかわらず高いプロ意識とモラル、知識などの素養や可能性のある人材を採用し、育成しています。

サラヤの最終ユーザーは、日本では食品衛生や医療衛生で女性の比率が高く、また家庭でも購買層は女性の比率が高いため、商品開発部門を中心にデザインや意思決定に女性がかわれるよう、女性の登用を多くすることを心がけています。

サニテーション事業本部は、食品衛生インストラクター制度を1989年に発足させました。（現在の名称はインストラクター制度）これは、サラヤ独自の制度として、お客様のご要望に応じて、店舗や食品製造現場を巡回して、洗剤や消毒剤などがマニュアルに沿って/正しく利用されているかなどをチェックし、必要に応じて説明やアドバイスをを行い、食品衛生サポートを提供しています。現在は感染予防や、食品衛生について幅広い知識を持つ栄養士の資格を有する女性を主体に組織しています。メディカル事業本部の学術部も当初より薬剤師の資格を持つ女性で構成し、これら専門職で女性が力を発揮しています。どちらも、最近では逆に男性も加わりこの分野で活躍しています。

サラヤ3社の正社員・嘱託社員、その他有期雇用従業員の女性比率

| 2020年度 | サラヤ | 東京サラヤスマイル産業 | 3社 |
|-------------|-------|-------------|-------|
| 正社員及び嘱託女性比率 | 34.9% | 31.5% | 20.0% |
| その他有期雇用女性比率 | 82.5% | 77.8% | 82.1% |



サラヤのジェンダー関連の認証、受賞、宣言等

| 取得年 | 主催または認定団体 | 名称 | 認証または受賞、行動宣言 |
|------|--------------|-----------------------------|----------------|
| 2006 | 大阪府 | 男女いきいき・元気宣言事業 | 認定、登録 |
| 2013 | NPO法人 ひまわりの会 | ひまわり褒章2013 企業部門賞 | 受賞 |
| 2015 | 大阪市 | 女性活躍リーディングカンパニー認証(認証レベル2つ星) | 認証 |
| 2015 | 大阪市 | 女性活躍リーディングカンパニー最優秀賞 | 受賞 |
| 2016 | 内閣府男女共同参画局 | 輝く女性の活躍を加速する男性リーダーの会 | 行動宣言 (社長 更家悠介) |
| | 大阪商工会議所 | 大阪サクヤヒメ表彰 | 受賞(吉田葉子) |
| 2017 | 大阪市 | 女性活躍リーディングカンパニー認証(認証レベル2つ星) | 継続認証 |
| 2018 | 大阪商工会議所 | 大阪サクヤヒメ表彰 大賞 | 受賞(川向恵美子) |
| 2020 | 大阪市 | 女性活躍リーディングカンパニー優秀賞 | 受賞 |

クロスアポイントメント制度を活用してイノベーションを社会実装します

バイオケミカル研究所では、持続的にイノベーションを社会実装していくために、産学連携にも力を入れています。その一環として、私はクロスアポイントメント制度(※)を活用し、2018年度から大阪大学大学院工学研究科にも特任准教授として籍を置き、サラヤ95%、大阪大学5%の割合で業務に従事しています。

大阪大学では、主に共同研究先が保有する技術である超好熱菌由来プロテアーゼの実用化研究を行っています。社会実装にはいくつかのハードルがありますが、独自性の高い商品を目指し、諦めずに粘り強く研究に取り組んでいます。

また、研究活動に加え、学生への教育活動として、企業研究を題材に学内セミナーや授業で講師も務めています。研究者の卵である理系学生が将来を選択する際に少しでも役立てばと思いながらお話しさせていただくのですが、彼らから刺激

をもらい新たな発見をさせられることも多くあります。

これからも、クロスアポイントメント制度で得た、多彩な人脈と様々な研究分野に関する最新の情報や知識、そして広い視野を活用して研究開発を行い、独自性と付加価値の高い商品を世界に送り出していきたいと思っています。

※研究者が大学、公的研究機関、民間企業のうち、2つ以上の組織と雇用契約を結び、一定の勤務割合の下で、それぞれの組織における役割分担や指揮命令系統に従いつつ、研究・開発及び教育などの業務に従事することを可能にする制度

バイオケミカル研究所 柏原エリア
MDRG 次長
尾田 友香





安全な水とトイレを世界中に

ソホロ



BIO-SURFACTANT
through fermentation

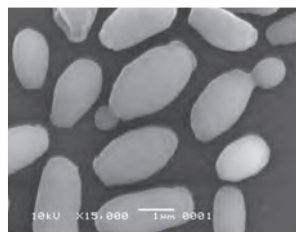
ソホロとは

ヒトの体が脂肪を吸収する仕組みは、肝臓でつくられた胆汁酸が十二指腸で分泌され、脂肪を乳化し、酵素による消化を助けます。同じように、酵母などの微生物は、水に溶けにくい油脂を栄養として取り込みやすいように微生物が自ら界面活性物質を分泌します。この生物が出す界面活性物質をバイオサーファクタント（以下BSと略）と総称します。

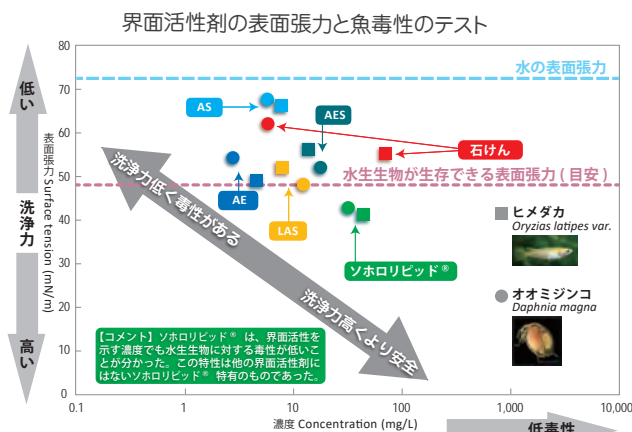
ソホロはソホロスリピッド（ソホロリピッド®）のサラヤの原料としての商品名で、糖類と油脂を酵母の栄養として与え醗酵させ、酵母（下写真）が分泌したBSを精製・分離したものです。強力な洗浄力がありながら、環境中の生態系ですべて生分解され、二酸化炭素と水に分解されます。人体への安全性は発酵食品と同じくらいです。

界面活性剤を加えることによって水の表面張力が小さくなり、小さいほど洗浄力が強くなります。左下のグラフは、表面張力と魚毒性のテストとして、ヒメダカとオオミジンコの生存限界を調べたものです。グラフは、ソホロが最も洗浄力があり毒性が低いことを示しています。

食品の乳化剤として利用されているショ糖脂肪酸エステルより濃い濃度でも安全性が高いということがデータで示されています。また、生分解度は石けんと同等の生分解度です。



ソホロを生み出す酵母



AS (アルキル硫酸塩) 高級アルコール系中性洗剤、生分解性は良好
AE (ポリオキシエチレンアルキルエーテル) 高級アルコール系中性洗剤、生分解性は良好
AES (ポリオキシエチレンアルキルエーテル硫酸塩) 高級アルコール系中性洗剤、生分解性は良好
LAS (直鎖アルキルベンゼンスルホン酸塩)

再生医療に応用

再生医療における細胞の超低温下（約-196℃）保存において、氷晶による細胞の損傷を防ぐ凍結液としてソホロを利用する共同研究をサラヤは大阪大学と進めています。従来ジメチルスルホキシド（DMSO）が使われていますが、これは分化誘導や細胞毒性といった懸念が残ります。ソホロは、低い細胞毒性であり、糖脂質であることから細胞への分化影響が少ないと予想され、「細胞にやさしい保存液」としての応用が期待されます。

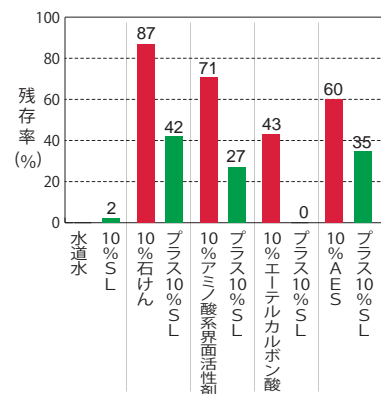
ソホロのすぐれた特長

ソホロには洗浄に好都合な性質がいくつもあります。ひとつは、ソホロ自体が低起泡性であることです。さらにソホロには、酸型とラクトン型が存在していますが、この2種のバランスを調整することで起泡性をコントロールできます。

食洗機や洗濯用の洗剤は、泡立ち過ぎると中に泡がつかったり、洗濯機では外に泡が溢れだすことなどを防ぐため、泡立ちを抑える成分が配合されています。ソホロでは本来が低起泡性であるので、環境負荷の高い泡立ち調整剤を添加する必要がありません。

さらに、すすぎ性が良いのが特長で、水道水と同等です。また、他の界面活性剤に配合することで、すすぎ性を改善することができます。

右下のグラフは界面活性剤10%液にブタ皮を15秒間、その後水に15秒間浸漬して、界面活性剤の残存率を計測したデータです。ソホロ（SL）を加えることで、すすぎ性が向上していることが分かります。ソホロは洗剤以外にも、化粧品や医薬品にも利用可能であり、原料としての販売も行っています。



ソホロ (SL) 配合によるすすぎ性向上のテスト



エネルギーをみんなにそしてクリーンに

100%持続可能なエネルギーの利用を目指して

クリーンエネルギーの取り組み

サラヤは2011年の東日本大震災後の電力問題をきっかけに、社内の省エネ意識が高まり、東京サラヤ本社の電力購入先を電気使用量と電気料金の削減効果が期待できる電力会社へ変更しました。電気使用状況の見える化サービスを有効活用しながら、積極的な省エネ対策を推進しています。電気使用状況が数字やグラフで即時に把握でき、節電対策が迅速に行えるようになりました。電気の使い過ぎが分かると、タイムリーかつ具体的に、全社に一斉メールで節電を促すことができるため、社員の意識向上にも役立っています。さらには、照明をLEDや人感センサー付きに交換するなど、設備面で

も節電対策を積極的に推進しています。8年以上が経過した現在、切り替え前より年間3万kWh以上の削減を行いました。

そして、東京サラヤ株式会社本社社屋の電力は、100%再生可能なエネルギーを使用しています。2019年10月からはサラヤ株式会社、東京サラヤ株式会社は、再エネ100宣言RE Actionに参加しています。現在は、東京サラヤ本社並びに、サラヤ株式会社伊賀工場では太陽光パネルを設置しています。2050年までに再生エネルギー100%の目標達成に向けて、今後、本社・生産拠点・営業拠点で再生可能エネルギーの積極的な導入を図り、地球温暖化防止への一助として取り組んでまいります。

2050年のサステナブル目標

再エネ100宣言 RE Action

再エネ100宣言 RE Actionは2019年に発足してから2年が経過し、RE100の中小企業版として認知され、190を超える団体が参加しています(2021年10月時点)。サラヤ株式会社は、発足当初から再エネ100宣言 RE Actionへ参加され、省エネと再エネ導入の組み合わせで、着実に脱炭素目標に向けて歩を進めています。その長期にわたる取り組み姿勢に敬意を表します。

気候変動問題への対応は、最も重要な世界的課題ですが、豊富な再生可能エネルギーの活用や、ITなども活用した最新のエネルギー・マネジメント技術など有望な要素も多数あります。日本でもこれを経済成長の制約やコストとする時代は終わり、ビジネスの機会として捉えるステージに入りました。先進的な企業では、社会的課題と経済性が両立することを次々と実証しています。サラヤ株式会社も、サステナビリティ・脱炭素分野でのビジネスリーダーとしての引き続きの活躍に期待しています。

再エネ100宣言 RE Action 協議会メンバー
梅田 靖



東京サラヤ本社

「～エネルギーを再エネ100%へ～ 鼎談 on レース・フォー・ウォーター号」を開催しました。



レース・フォー・ウォーター号 (現ポリマ号)



開催日時：2020年9月25日(金)
コーディネーター：テレビ朝日 アナウンサー 山口 豊氏
株式会社丸井グループ サステナビリティ部長 関崎 陽子氏 (RE100 企業代表)
登壇者：品川区 副区長 和氣 正典氏
サラヤ株式会社 社長 更家 悠介氏 (RE Action 企業代表)
主催：特定非営利活動法人 ゼリ・ジャパン
共催：再エネ100宣言 RE Action

8



働きがいも経済成長も

ワーク・ライフ・バランス

子育てや家族の看護、介護と仕事の両立

サラヤは、従業員一人ひとりがやりがいや充実感を持ちながら働き、仕事上の責任を果たすとともに、家庭や地域生活などにおいても、子育て期、中高年期といった人生のライフステージに応じて多様な働き方を選択できる制度を設けています。具体的には、出産・育児、家族・親の看護や介護などと仕事を両立できる休暇や勤務体系です。

産前・産後の休暇、育児休暇、育児短時間勤務、育児時差出勤制度、在宅勤務制度、所定外勤務免除、時間外労働・深夜勤務の制限、看護休暇など、子育てを支援する制度があります。産前・産後の休暇以外は、男性にも適用されています。

介護を必要とする家族を持つ社員は、介護休業、介護短時間勤務、介護時差出勤制度、在宅勤務制度、時間外勤務・深夜業務の制限などによって介護を支援しています。出産・育児と介護休業取得者の実績は右表の通りです。また、企業主導型保育所「サラヤチャイルドステーション」を2018年4月に開設しました。



厚生労働省が実施している「子育てサポート企業」の認定制度のマーク。サラヤは2009年にこの認定を取得し、東京サラヤは2014年に取得しました。



サラヤチャイルドステーション

自己啓発やボランティア活動のための休暇

仕事と余暇のバランスもメンタルヘルスや仕事への意欲の充実のために必要です。仕事と私生活との両方の充実が相乗効果や好循環を生み出します。サラヤでは有給休暇以外にワーク・ライフ・バランス特別休暇として正社員と嘱託社員に付与しています。

サラヤ株式会社・東京サラヤ株式会社過去3年の育児・介護休暇取得実績 2017年11月～2020年10月

| | 女性取得者 | 男性取得者 | 男性取得可能者 |
|-------------|-------|-------|---------|
| 産前産後休暇、育児休暇 | 77 | 1 | 105 |
| 介護休業 | 5 | 0 | |

仕事と家庭を両立しながら社会の役に立つ研究開発を行います

私は2013年の入社以来、主に除菌シートなどの環境衛生分野の研究開発に従事しています。私生活では、2019年4月に出産し、産休育休合わせて6ヶ月で職場復帰させていただきました。早期の職場復帰は研究所や総務人事本部の皆さん、家族の協力とともに生後5ヶ月よりサラヤチャイルドステーションに入園させていただくことで実現しました。現在は2歳半の男の子を育てながら、フルタイムで働いています。

今では仕事と家庭の両立に慣れてきましたが、復帰直後は離乳食や子どもとの関わり方など育児に関する悩みが多く落ち込むこともありましたが、そんな時にもサラヤチャイルドステーションの保育士さんや調理師さんが私ども家族に寄り添ってくださり、色々なアドバイスをくださいました。私が育児との両立に切羽詰まっていた時に園長先生から頂いた「お母さん頑張りすぎなくていいですよ。子育ては家庭・保育園両方でやっていけばいいですよ。」との温かい言葉にも救われました。サラヤチャイルドステーションにおいて子育てのプロである先生方に相談させて頂ける環境があることは、子どものみならず親にとって本当にありがたく仕事に集中することができています。

職場においては、妊娠してから現在まで上司や同僚が私の体調や状況を気遣ってくださり、産休育休中には私の業務を快く引き継いでくださいました。復帰後は常に周りの方々への感謝の気持ちを持ちながら、業務目標や計画をより明確に設定し実行するようになりました。

この取り組みにより、現在では復帰前よりも効率よく質の高い業務ができています。実際に職場復帰してからの2年間で2製品の商品化、3案件の特許権利化に携わらせていただきました。

家族にも感謝しています。以前住んでいた地域は待機児童が多く、私の復帰したいタイミングで入園できる保育園がありませんでした。そのため、息子が生後3ヶ月の時にチャイルドステーションの近くに家を引き越しました。息子の送迎については、朝保育園に連れて行くのは夫、夕方お迎えに行くのは私と分担しています。その他の家事育児についても特に取り決め等はしていませんが、できるほうができることをやるというスタイルを大切に、夫婦で協力しながら分担しています。

仕事と家庭の両立は簡単ではないですが、子どもを持ち親という立場になったことで、今まで使ったことのない製品に触れたり、新しい経験が増えたりと視野の広がりを実感しています。今後も仕事と家庭の両立によって得られる様々な視点を生かし、社会の役に立つことを念頭に研究開発に従事していきたいと思っています。

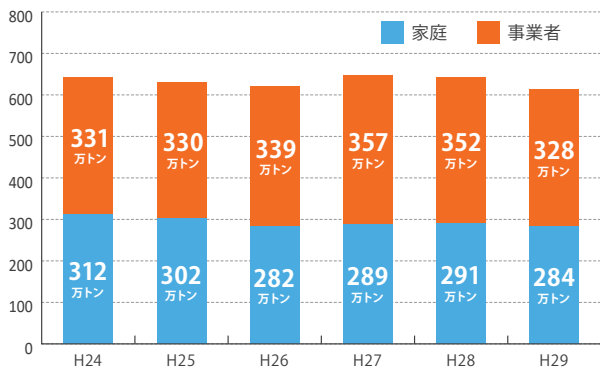
バイオケミカル研究所
手指環境衛生 G
越智 淳子



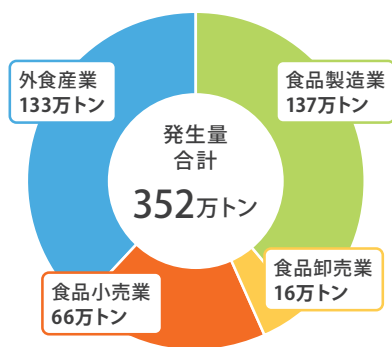
新チルド冷凍調理システムソリューション推進事業への取り組み

“食”の業界では、“新鮮”で形や見栄えが良く良質な食の提供が必須であり幅広く華やかなメニューラインナップを揃える飲食の業界などでは、それらを維持するための人材確保、技術継承や大きな食品ロスなどのさまざまな問題が生まれていました。

現代の日本では食べられるのに廃棄される食料が年間 600 万トンとされ、世界に至っては、年間約 13 億トンと、更に多くの食料が廃棄される一方で、途上国では様々な理由で食糧が行き渡らず、飢餓がなくなることに對する国際的な意識は高まっています。



平成24年から平成29年度の日本の食品ロス総量の推計
農林水産省HP掲載の食品廃棄物等の利用状況 (H24～H29年度推計)



平成28年度業種別事業系食品ロス(可食部)内訳
消費者庁消費者政策課「食品ロス削減関連参考資料」(令和元年7月11日版)より

サラヤでは、出来たての料理を冷まさず瞬時に脱気包装できる「シュットマン」と-30℃に冷やしたアルコール冷媒液にパック包装をした食品を浸け込み凍結させる液体急速凍結機「ラピッドフリーザー」の利点を活かした次世代型クックフリーズシステム「新チルド冷凍調理システム」の運用の提案を行っています。

急速液体凍結は気体に比べて約 20 倍の熱伝導率を持つ液体で凍結し、高品質に冷凍でき、保管運用方法の活用で作業の効率化と獲れたての食材や作りたての食品が活用できる運用が実現します。

「新チルド冷凍調理システム」の冷凍運用は食品ロスの削減だけでなく、省力化による二酸化炭素の排出量削減に貢献します。

地域食材を旬の時期は生鮮品としてそのまま流通させ、これまで廃棄していたサイズ違いや傷がついた規格外品を加工し、別の料理や業務用として加工し、新チルド冷凍調理システムの高い品質を生み出す生産技術を生かし、凍結して運用するなど転化させ食品ロスを削減させることができます。また、一般的な冷凍では、数時間かかる食材も数十分で冷凍でき、生産性も良くなるため、短時間で多くの冷凍が可能となります。

また、コロナで出口がなく、成長しすぎて商品価値を失う養殖魚などは、一番良質な状態で凍結保管することで、要望に応じた適正量の供給が可能となり、調理現場では、ある程度下処理をして、保管し必要分のみを解冻調理し提供とロスの少ない計画的な展開が実現できます。

フードロス削減に加えて、作業効率を上げ省力化することで、エネルギーの排出量を抑え、できた冷凍食品の流通する上で発生するエネルギー排出量の削減も望めます。

サラヤでは、ラピッドフリーザーやシュットマンを導入し、開発されている事業者の食品を通販で流通させることで、産地の食に対する取り組みの紹介とともに、新しい高品質な冷凍食品の販売を行っています。また、それらの食材を使い、効率的な冷凍運用で自社メニュー開発し、提供するキッチンカーで実証事業を行うなど、次世代の冷凍をテーマとした運用提案から出来上がった食品を販売、調理運用する出口戦略まで一貫した取り組みを行っています。



液体急速凍結機ラピッドフリーザー



サラヤの凍結技術を活用し、出来たてをそのまま包装・凍結した高品質な商品を展開されている伊豆の“めぐみ水産”のひものシリーズ。



ラピッドフリーザーやシュットマンを活用した高品質な冷凍食品などを中心に取り扱う通販サイト「umamama(旨まま)」で産地の紹介や取り組みと共に商品を販売することで支援を行っています。



地方の食材を使うと共に、最適な冷凍運用によるメニュー展開でロスなく、高品質なメニュー開発・提供運用の実証の取り組みを行うキッチンカー。

新チルド冷凍調理システムを起点とした次世代の食のカたちへの取り組み

流行を繰り返す新型コロナウイルス感染症による“食”の業界への影響は、生産者から流通、飲食店に至るフードチェーン全体におよぶ中、感染症対策を踏まえた生活形態が確立されつつあります。飲食店などはテイクアウトやデリバリーなど、店内飲食を控えられる中、新しい“食べ方”への提供形態への認識から利用が増えています。

また、食の生産現場でももともとあった“食”の業界にあった問題解決に加え、より効率的な食の製造方法への模索、時勢に対応する商品開発への取り組みの中、液体凍結への関心も増えており、市場が急拡大しています。

サラヤでは、液体急速凍結機ラピッドフリーザーを活用の利点である高品質な冷凍食品の製造に加え、液体急速凍結による生産性の向上の2点を組み合わせたシステムにより、少ない人手で高品質な冷凍食品を製造。冷凍保管からオンデマンド販売の運用ソリューションを提案しています。

さらにラピッドフリーザーを導入したユーザー様の商品を集めた通販サイトを運用や地域食材を活用した料理メニューを産地の紹介と共に提供するキッチンカーなど運用。

高品質な冷凍食の認知度向上と最適な運用方法の構築を行い、ノウハウと共に提供できるソリューションの構築に取り組んでいます。

熱海近海で獲れる新鮮な魚を使った干物製造のユーザー様では、手軽に魚を食べる“ファストフィッシュ”への取り組みから、これまでの家で焼いてもらう干物の販売スタイルから、ホットパックが可能なシュットマンとラピッドフリーザーを使用し、炭火でベストな状態で焼き上げた干物をすぐにパックし凍結し、レンジで手軽に食べられる干物を開発。

出来上がった商品をサラヤが運用するECサイトでも紹介するとともに販売しています。

また、人それぞれが感じる身体のさまざまな悩みの種類に対応するよう野菜ソムリエが監修し厳選した食材を使った冷凍スムージーキット「アンサー」を開発。運用するキッチンカーやEC通販でも販売することで外でも自宅でも飲むことができる展開を行うことで、さまざまな冷凍食を活用するシーンの開拓を同時に行っています。



一人ひとりが日々感じるカラダ悩みの答え(アンサー)に寄りそうスムージーブランドです。野菜や果物の自然な美味しさを最大限に引き出せるよう、ナチュラルな食材を厳選し体にいい食材だけを使用しています。

サラヤのダイバーシティ推進

企業のもっとも重要なリソース（資源）は人材です。

また、その人材は、ジェンダーや年齢、国籍、背景となる文化、ライフスタイル、家族構成、志向・価値観など、多様な個性を持つものと考えます。すべての働く仲間がジェンダーや国籍などに関係なく持てる能力を発揮でき、いきいきと働ける包摂的な職場環境を創造することは大切な企業の責任です。そこでサラヤグループでは、以下のとおりダイバーシティ推進方針を定め、多様な人材を積極的に登用し、適材適所に配して、組織の活性化や生産性の向上、競争力の強化を図るなど、人材活用の取り組みを実施しています。

ダイバーシティ推進方針

1. サラヤは、多様な人材、多様な価値観により仕事の好奇心や驚きを拡大し、専門性の深みを増し、世界や各事業分野の多様性を拡げ、チーム力により楽しさを創出して、顧客への新たな価値の提供や満足度の向上へつなげます。
2. サラヤは、多様な人材と価値観を受入れ、活用し、また自律した人材としての能力を伸ばしていけるように、従業員に多様性への理解を奨励すると共に、職場環境や育成の仕組みを充実させます。
3. サラヤは、ビジネスやCSRを通して、多様な従業員と会社が、ともに力をあわせて成長発展し、地球と、国や地域社会の持続可能な発展の実現に、大いに貢献できる企業を目指します。

障がい者雇用優良事業所 理事長努力賞を受賞

サラヤでは障がいのある方の雇用もダイバーシティ推進の一環として、雇用推進や職場定着に取り組んでおり、サラヤは障がい者雇用優良事業所として令和3年度独立行政法人高齢・障害・求職者雇用支援機構理事長努力賞を受賞しました。



施設外就労「M.I.Eモデル」

伊賀工場では2017年から就労支援機関から施設外就労の受入れを実施しています。

作業環境の整備や従業員への理解を進める中で、十分な戦力として活躍いただいております。直接雇用への転換にも取り組んでいます。

また、複数の支援機関による連携、企業間連携を通じた情報交換などの取り組みが、三重県雇用経済部により施設外就労モデル事業所「M.I.Eモデル」として評価されています。



ボトルポンプのカバー掛け作業

特例子会社「The Links株式会社」の設立

サラヤグループにおける障がい者の雇用を促進し、活躍の場を拡大する目的で、2020年11月にThe Links株式会社を設立、2021年2月に特例子会社の認定を取得しました。

The Links株式会社は、サラヤグループ各社のシェアードサービスを主な事業としており、精神障がい者12名（2021年10月現在）がデータメンテナンスやプログラミング、商品サンプル封入など、その特性

を活かしたお仕事に従事しています。



| 年度 | 2016 | 2017 | 2018 | 2019 | 2020 | 2021 |
|--------|----------------------|----------------------|----------------------|----------------------|----------------------|----------------------|
| 法定雇用率 | 2.0% | | 2.2% | | 2.3% | |
| サラヤ | 100% 雇用率 2.09% | 100% 雇用率 2.18% | 100% 雇用率 2.39% | 100% 雇用率 2.97% | 100% 雇用率 2.55% | - |
| 東京サラヤ | 71% 雇用率 1.41% | 93% 雇用率 1.85% | 100% 雇用率 2.56% | 100% 雇用率 2.61% | 100% 雇用率 2.34% | - |
| グループ全体 | - | - | - | - | - | 100% 雇用率 2.63% |

障がい者法定雇用率の推移

障がい者と企業や社会を“つなぎ”、サイクル的な環境づくりを目指します

The Links株式会社は、障がい者が企業や社会とつながりを持ち、仕事や仲間との出会いを通して活躍の場を見出し、そして戦力となっていただきたい。そのような思いで“つながり”を意味する社名といたしました。障がい者雇用に特化した事業の中でその特性にあった技術を身につけていただき社内外で活躍できるように、成長と自立を支援し、The Linksが育成の場となるよう努めてまいります。

The Links株式会社 取締役 笹 さとみ





グローバルな人材とともに

多様な人材がサラヤの資産

サラヤはアジア、アメリカ、ヨーロッパ、オセアニア、アフリカに拠点を拡げています。グローバル化につれてグローバルな人材が必要になります。そのため、海外営業はもとより、開発にもグローバルな人材を雇用しています。サラヤのグローバル生産本部が25%、海外事業本部が8%、商品開発部が8%が日本以外の国の出身者です。待遇や機会における差別は、制度上はもとより内在的にもなく、管理職になった者や日本国籍を取得した者も少なくありません。



多様な人材が所属する海外事業本部

| 国籍 | 人数 | 男性 | 女性 | 正社員 | 嘱託 | 準社員 | パート |
|---------|-----|----|-----|-----|----|-----|-----|
| インド | 4 | 4 | 0 | 4 | | | |
| インドネシア | 1 | 1 | 0 | 1 | | | |
| ウクライナ | 3 | 2 | 1 | 2 | 1 | | |
| 英国 | 1 | 1 | 0 | | 1 | | |
| オーストラリア | 1 | 0 | 1 | | 1 | | |
| カザフスタン | 2 | 2 | 0 | 1 | 1 | | |
| カナダ | 1 | 0 | 1 | | 1 | | |
| 韓国 | 7 | 3 | 4 | 7 | | | |
| スペイン | 1 | 1 | | 1 | | | |
| 台湾 | 2 | 1 | 1 | 1 | | | 1 |
| 中国 | 18 | 6 | 12 | 17 | | 1 | |
| チュニジア | 1 | | 1 | | 1 | | |
| フィリピン | 3 | 1 | 2 | 3 | | | |
| フランス | 1 | | 1 | 1 | | | |
| アメリカ | 1 | | 1 | | 1 | | |
| ベトナム | 7 | 4 | 3 | 1 | 1 | | 5 |
| ミャンマー | 112 | | 112 | | | | 112 |
| ラオス | 19 | | 19 | | | | 19 |
| ロシア | 5 | 2 | 3 | 1 | 3 | | 1 |
| 計 | 190 | 28 | 162 | 40 | 11 | 1 | 138 |

国別・男女別・社員区分別従業員数（2021年8月30日現在）



住み続けられるまちづくりを

レジリエンスなまちづくりと地域に愛される企業へ

品川区のまちづくりに参画

東京サラヤ株式会社は本社所在地である東京都品川区の地域の皆様と、持続可能なまちづくりに参画し活動しています。

具体的には・・・

- 品川区自衛消防隊技術審査会、品川区第二地区総合防災訓練の参加
- 国道15号徒歩寄託者支援協議会への参画
- 周辺地域への清掃美化活動及び公園の花壇の植え替え
- 品川区宿場まつり支援活動 等

昨今の新型コロナ感染拡大対策の為に、各イベントが自粛されていますが、今後も地域の皆さまと共に企業活動を行って参ります。

SEMA

緊急災害対応アライアンス「SEMA」は、自然災害の多発地域である日本において、大規模災害時に一刻も早く、企業・CSO・政府が災害支援のためセクターや国境を越えて相互に協力する仕組みを作り、ひとりでも多くの被災者を救うことを目指して、2017年8月31日に設立されました。2021年9月1日現在、企業63社、市民団体6団体が加盟、サラヤ株式会社は設立時から参画しています。



(<https://sema.yahoo.co.jp/>)

認定特定非営利活動法人 災害人道医療支援会様

(<https://www.huma.or.jp/>)

特定非営利活動法人 ジャパン・プラットフォーム様

(<https://www.japanplatform.org/>)



2020年7月熊本県で発生した豪雨では衛生商品を提供

特定非営利活動法人 ピースウィンズジャパン様
(<https://peace-winds.org/>)



2021年8月に九州北部及び中国地域で発生した記録的な豪雨では、災害発生した現地に衛生商品の緊急物資を提供

茨城県との協定

サラヤ株式会社は茨城県との医療用資材の優先供給に関する連携協定を締結しました。2021年7月6日(火)に茨城県庁(茨城県水戸市)にて、連携協定締結式を行いました。

新型コロナウイルス感染症拡大により、生命や健康に重大な被害を与える感染症が発生し、拡大するおそれがある場合に備え、茨城県内の医療施設等における医療体制の安定を図るため、緊急時における医療用消毒剤等をはじめ、その他防疫に必要な茨城県内医療機関1ヶ月分相当分の医療用資材の優先供給に関する連携協定を、併せて締結いたしました。

関東工場の所在地である茨城県と協定を締結することにより、地域社会や経済のさらなる活性化とともに、医療体制の安定化などにも貢献して参ります。



茨城県大井川知事と更家社長



つくる責任つかう責任

サプライチェーン

世界の食を支えるパーム油

NPO CDP (Carbon Disclosure Project) は世界の森林破壊の原因の8割は、牛、木材、大豆、パーム油という4つの農畜産物に対する需要であると報告しています。2005年まで世界で最も生産・消費されていた植物油脂は大豆油でしたが、2006年にパーム油が大豆を上回って以来、大豆油との差は開きつつあります。2020年のパーム油生産は、世界で7,419万5,000tでした。マレーシア、インドネシアともに2019年と比較して2020年の生産量は減少しています。これはCOVID19の影響により労働者不足となったことが原因と考えられます。単位面積当たりの収穫率は、マレーシア3.6t/ha、インドネシア3.38t/haとなっています。油脂市場の研究機関であるオイルワールドでは、2021年の世界市場は、インドネシア産パーム油への依存度を高め、マレーシアの輸出量は、在庫量の少なさと生産量の回復の鈍さから、前年を下回ると予測しています。

パーム油の生産地

パーム油の生産はインドネシアとマレーシアで全体の89% (2019年) を占めていて、ボルネオ島が最大のオイルパーム



アブラヤシ果房の収穫

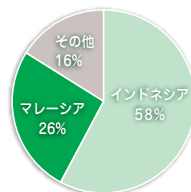


生産地となっています。

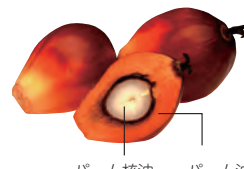
日本では、パーム油の大半は、マーガリン、ショートニング、ココアバター代替品などとして食品加工用やポテトチップスなどの揚げ油として利用されていますが、パーム核油は逆に半分以上が非食用で、石けん、洗剤、化粧品、キャンドル、工業製品の原料になっています。

これほど世界に需要が広がったのは、他と比べて安価であることです。パーム油は1ha当たりの収穫率がグアテマラ4.39t/ha(2021年)、世界平均では3.25t/ha(2021年)と高く、2番目の大豆油の0.5t/haを大きく引き離しています。その上、赤道直下のマレーシア、インドネシアなどの労働対価が安価な地域でオイルパームが生育することも価格の低い理由です。

安価なオイルパームの背後には、児童労働や強制労働をはじめ過酷な状況での違法労働、違法伐採など、様々な問題が内在しています。このような背景の中でサラヤは、持続可能な原料調達を進めています。次ページ以降に、その詳細をご紹介します。

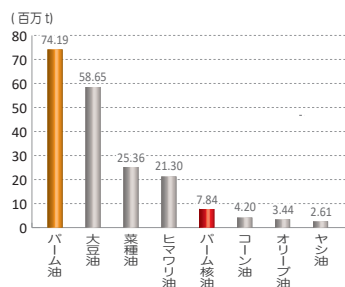


2020年度パーム油生産国生産量比率 (Oil World Annual 2021)

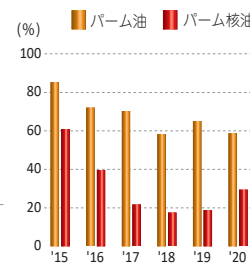


パーム核油 パーム油

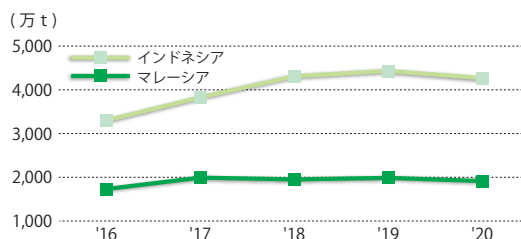
アブラヤシ果実



2020年度世界の植物油生産量 (Oil World Annual 2021)



日本のマレーシア輸入比率推移 (Oil World Annual 2021)



インドネシアとマレーシアのパーム油生産量の推移 (Oil World Annual 2021)



持続可能なパーム油のための円卓会議

2004年に発足した NGO Roundtable on Sustainable Palm Oil (以下 RSPO) は、持続可能にパーム油の生産、加工、流通を行うために、8つの原則と43の基準(2013年制定、5年ごとに改定、2016年に RSPO NEXT を発表が定められています。アブラヤシ農園からすべての工程でこれらの原則と基準に則って製造された RSPO が認定するパーム油を CSPO (Certified Sustainable Palm Oil) として、2020年には世界のパーム油の約19% (1,711万t) が出荷されました。また、RSPO 農園は出荷した量に見合ったクレジットを発行することができます。

2020年RSPO認証油使用の目標

サラヤのご家庭用商品については、アブラヤシ由来の原料をセグリゲーションもしくはクレジットのどちらかの RSPO 認証油を用いてきました。業務用も含めたすべての RSPO 認証油使用については、認証パーム核油 (CSPKO) やパーム油及びパーム核油の誘導体が市場に極めて少ない現実 (認証パーム種子のみ) とそれが今後も当分続くという予想を踏まえて、すべての原料についてセグリゲーションの RSPO 認証油を使用するという従来の2020年目標を見直しました。

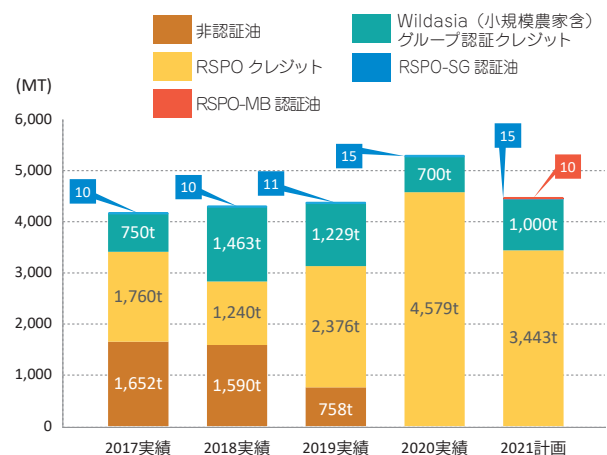
サラヤは、新たな2020年目標としてすべての自社製品(国内販売)において、ブック&クレーム方式(クレジット)を含むRSPO 認証油に切り替えすることを目指し、2030年には海外を含めたグループ全体でのRSPO 認証油の使用を目指します。サラヤのRSPO 認証パーム油とRSPO 認証パーム核油の使用実績は右グラフの通りです。



アブラヤシ

RSPO 8原則

1. 透明性へのコミットメント
2. 適用法令と規則の遵守
3. 長期的な経済・財政面における実行可能性へのコミットメント
4. 生産及び搾油・加工時におけるベストプラクティス(最善の手法)の採用
5. 環境に対する責任と資源及び生物多様性の保全
6. 農園、工場の従業員及び、影響を受ける地域住民への責任ある配慮
7. 新規プランテーションにおける責任ある開発
8. 主要活動分野における継続的改善へのコミットメント



サラヤのRSPO認証パーム油およびパーム核油の実績と計画

サラヤが使用している RSPO 認証油の種類

セグリゲーション

RSPO-1106041

セグリゲーションはアブラヤシ栽培から加工、流通などすべての工程で、他の非認証油と混合されることなく管理し、栽培から加工、流通まで環境や労働者への配慮が適切に行われて生産されていることが RSPO によって認証された原料です。ハッピー エレファント シリーズ商品に使われています。Identity Preserved は 1 農園原料のみを使用したもの。

ブック & クレーム (クレジット)

RSPO-1106041

生産者が認証パーム油の生産量に基づいてクレジットを発行し、それをメーカーが購入することで持続可能なパーム油に貢献することができます。2016年まではこの取引システムが民間企業に委託されていたが、2017年1月よりRSPO 認証制度直轄の運用に変更され、マークが変更されました。



キナバタンガン下流域の持続可能なアブラヤシ栽培を支援

RSPO認証パーム油

RSPOの集計によると、RSPO 認証パーム油は、2020年度(10月現在)は約1,910万tで世界の全生産量の19%、RSPO 認証パーム種子は419万tです(RSPO 認証パーム核油の記載はなし)。

サバ州ではクラッシャーと呼ばれるパーム種子の搾油工場が小規模であることが多く、RSPO 認証を得られていないのが現状です。認証のアブラヤシ種子もクラッシャーが非認証であるものが多く、非認証油として流通しています。一時は認証パーム核油の不足から、ブック&クレームのクレジット価格が1tにつき120~140ドルと高騰しています。

ワイルドアジアを通して小規模農家を支援

ワイルドアジアは2003年に設立されたソーシャルエンタープライズで、マレーシアを本拠とし、熱帯雨林の保全や自営のスマール・ホルダー(小規模農家)のRSPO 認証を推進する支援活動としてWild Asia Group Scheme (WAGS)を進めています。サバ州では、アブラヤシを栽培するスマール・ホルダーの若い世代が、RSPO 認証に積極的でワイルドアジアが指導する農業や肥料の使用を減らして、収穫を上げるWAGSを実践しています。彼らの親の世代は、保守的で伝統的な手法に固執して、変革を受け入れることに消極的な傾向があります。

サラヤが見学したWAGSのスマール・ホルダーは、ボルネオゾウや猪が農園に入り込むことを防ぐために、試験的に養蜂を利用していました。ゾウは蜂の巣があると警戒して立ち入らないことを利用しています。また、生物多様性への配慮や観光の邪魔にならないよう景観にも気を配った栽培を進めています。

2020年にサラヤは、1,229t分のパーム油とパーム核油のブック&クレームのクレジットをワイルドアジアを通じて入手しました。これは、RSPO グループ認証を得たこれらのスマール・ホルダーが、アブラヤシ果房をミルに売った分のRSPO 認証クレジットでした。これらスマール・ホルダーは購買担当者も視察で訪れており、調査員の中西とはオランウータンのための吊り橋プロジェクトで協力し合った地域住民でもあり、トレーサビリティの確実性も確保されています。さらにスマール・ホルダーの支援にも役立っています。サラヤは今後も引き続きワイルドアジアを通じて、スマール・ホルダーからクレジット購入を続ける所存です。



Gomantong村にある小規模農家(1.2ha)は、蜂の巣を入口付近に置いている。ゾウは蜂の羽音を警戒して近寄らない。このことはアフリカゾウで確認されている。



Kemajuan Tanah Jujurコレクションセンター。まず車ごと重量を測り、その後荷台のアブラヤシ(果房)をおろし、再び車を計量、その差に当日のレートで、一定の搾油量の割合で換算し、買い取られる。センターは今まで個別にミルに売られていたアブラヤシをまとめて搾油所に輸送する。残念なことに、このセンターはまだRSPO認証が取れていないので、認証油としては流通できない。



WAGSの取り組みのひとつである表彰制度。B&Cクレジットの一部をワイルドアジアの取り分として運営費に充てている。取り組みがすぐれているスマール・ホルダーを表彰し、芝刈り機などの農具の賞品にも還元されている。写真の表彰式(2017年12月)では、サラヤがクレジットを購入した3つのスマール・ホルダーに我々から表彰状を授与した。



サーキュラーエコノミーの実現に向けて

プラスチック削減への取り組み

サラヤは1952年の創業時から環境のことを考え、天然素材を用いた商品づくりをコンセプトに様々な商品開発・販売を行ってきた歴史があり、プラスチック問題についても研究開発から製造まで一体となって取り組んでいます。

洗剤詰替えパウチ

食器用洗剤のボトルは使い捨てが当たり前だった1982年、業界に先駆けて石油資源の浪費とプラスチックごみの減量にいち早く対応し、ボトルを再利用できる「詰替えパック」を発売しました。



業務用リターナブル容器

大容量の容器に業務用洗剤を充填して出荷、空になったら回収して洗浄し、再び洗剤容器として使用するリターナブル容器の活用も長年行っています。また老朽化した容器のリサイクルも行っています。



減容ボトル

「事業所のごみの容量を減らしたい」という医療現場のお客様の声から、ハンドソープ容器を改良。形状の工夫と、容器自体を薄くすることで折りたたんで捨てられるようになり、ごみの容積を約70%削減。また、従来のボトルに比べ約50%のプラスチック使用量削減に成功しました。



B.I.B (バッグインボックス)

プラスチック製ボトルの代わりに、薬剤の入った内袋を段ボール箱に入れて使用するB.I.Bシステムへの切り替えも進めています。使用後は内袋と段ボールを分別し、段ボールは紙のリサイクルシステムへ、プラスチックはサーマルリサイクルされます。



容器の薄肉化による プラスチック使用量削減

使い勝手の問題等によりパウチにしにくい容器については、薄肉化によるプラスチック使用量の削減を行っています。耐衝撃性や耐薬品性などの品質を保持しながら、出来る限りの薄肉にするよう容器メーカー様と協力して検討し、2019年から2020年にかけて約14トン削減しました。



新素材の研究

サラヤは大阪大学宇山研究室を中心としたMBBP (Marine-Biodegradable Biomass Plastics) 開発プラットフォームに参画し、でんぷんとセルロースを組み合わせた新しい海洋生分解性プラスチックを産学協同で開発しています。

海洋プラスチック問題の解消とCO₂排出量削減を長期的な目的とし、地球と共生できる新しいプラスチック素材のみの使用化を目指し、研究を進めています。

(<http://www.chem.eng.osaka-u.ac.jp/mbbp/link.html>)



これからの取り組み

地球市民の一員として地球温暖化対策、生物多様性及び生態系の保護等地球環境の保全を行うというサラヤの環境方針に基づき、企業活動によって生じる環境負荷をできるだけ低減し、容器・パッケージのリデュースやエコ商品の新規開発を続けます。今後も引き続き、カタログ等の販促物はFSC認証紙の使用、紙のセット箱の使用、バイオマス原料の使用等、循環型社会の実現に向けた取り組みを行ってまいります。



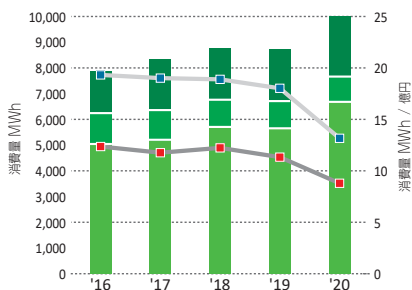
13 気候変動に
具体的な対策を

気候変動に具体的な対策を

環境マネジメントシステム

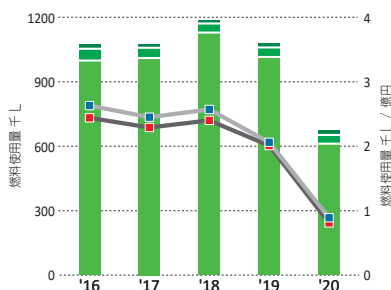
■ 東莞工場使用量
■ タイ工場使用量
■ サラヤ国内使用量
■ 総使用原単位
■ サラヤ国内使用原単位

電力



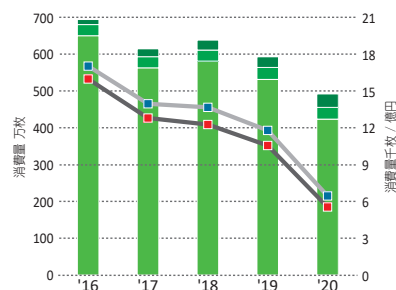
| 消費電力 (MWh) | 2016 | 2017 | 2018 | 2019 | 2020 |
|------------|-------|-------|-------|-------|-------|
| サラヤ国内 | 5,042 | 5,171 | 5,687 | 5,689 | 6,677 |
| タイ工場 | 1,200 | 1,182 | 1,077 | 1,016 | 974 |
| 東莞工場 | 1,560 | 1,641 | 2,002 | 2,343 | 2,343 |
| サラヤ国内原単位 | 12.36 | 11.49 | 12.23 | 11.33 | 8.79 |
| 総原単位 | 19.32 | 19.02 | 18.89 | 18.02 | 13.16 |

燃料



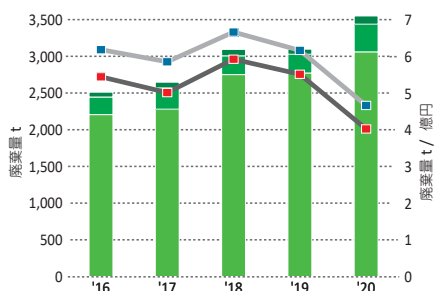
| 消費量 (千L) | 2016 | 2017 | 2018 | 2019 | 2020 |
|----------|------|-------|-------|-------|-------|
| サラヤ国内 | 995 | 1,006 | 1,124 | 1,012 | 1,072 |
| タイ工場 | 55 | 49 | 42 | 42 | 40 |
| 東莞工場 | 25 | 21 | 22 | 24 | 22 |
| サラヤ国内原単位 | 2.44 | 2.29 | 2.40 | 2.01 | 0.81 |
| 全社原単位 | 2.63 | 2.45 | 2.57 | 2.06 | 0.89 |

紙資源



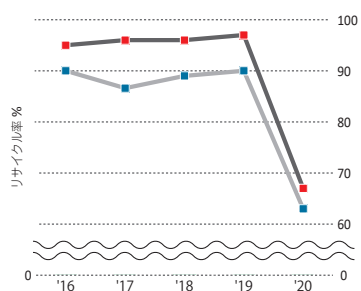
| 消費量 (千枚) | 2016 | 2017 | 2018 | 2019 | 2020 |
|----------|-------|-------|-------|-------|-------|
| サラヤ国内 | 6,500 | 5,637 | 5,861 | 5,313 | 4,234 |
| タイ工場 | 302 | 295 | 295 | 325 | 319 |
| 東莞工場 | 137 | 214 | 265 | 289 | 36 |
| サラヤ国内原単位 | 16.00 | 12.82 | 12.49 | 10.58 | 5.57 |
| 全社原単位 | 17.05 | 13.96 | 13.69 | 11.81 | 6.47 |

廃棄物



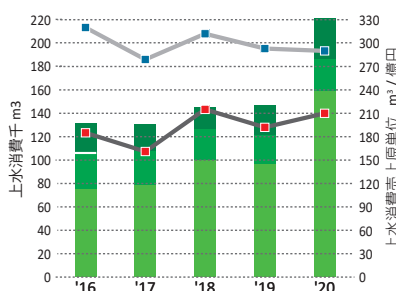
| 廃棄物量 (t) | 2016 | 2017 | 2018 | 2019 | 2020 |
|----------|-------|-------|-------|-------|-------|
| サラヤ国内 | 2,206 | 2,280 | 2,751 | 2,773 | 3,061 |
| タイ工場 | 239 | 289 | 256 | 255 | 377 |
| 東莞工場 | 66 | 78 | 87 | 69 | 112 |
| サラヤ国内原単位 | 5.45 | 5.03 | 5.93 | 5.52 | 4.03 |
| 全社原単位 | 6.15 | 5.86 | 6.67 | 6.17 | 4.67 |

リサイクル



| リサイクル率 (%) | 2016 | 2017 | 2018 | 2019 | 2020 |
|------------|------|------|------|------|------|
| サラヤ国内 | 96% | 96% | 96% | 97% | 67% |
| タイ工場 | 20% | 13% | 16% | 19% | 13% |
| 東莞工場 | 78% | 81% | 83% | 79% | 79% |
| 全社 | 89% | 86% | 89% | 90% | 63% |

上水



| 上水消費量 (千m³) | 2016 | 2017 | 2018 | 2019 | 2020 |
|-------------|--------|--------|--------|--------|---------|
| サラヤ国内 | 75,288 | 70,484 | 99,804 | 96,350 | 159,430 |
| タイ工場 | 30,539 | 29,226 | 26,663 | 25,372 | 26,724 |
| 東莞工場 | 24,902 | 22,996 | 18,291 | 25,116 | 34,238 |
| サラヤ国内原単位 | 185 | 161 | 215 | 192 | 210 |
| 全社原単位 | 320 | 279 | 312 | 293 | 290 |



温室効果ガス

サラヤは、温室効果ガス排出量を 2050 年度までに実質ゼロを達成するという目標を宣言します。

| スコープ | CO ₂ 換算計 | 原単位 | 占有率 |
|------|--------------------------|-------------------------------|--------|
| 1 | 2,990tCO ₂ e | 3.93t CO ₂ e/ 億円 | 3.3% |
| 2 | 3,558tCO ₂ e | 4.68t CO ₂ e/ 億円 | 4.0% |
| 3 | 82,763tCO ₂ e | 559.3t CO ₂ e/ 億円 | 92.7% |
| 計 | 89,311tCO ₂ e | 570.03t CO ₂ e/ 億円 | 100.0% |

| 排出源の分類 | CO ₂ 排出量 (t CO ₂ e) |
|-------------------|---|
| 購入した原料、容器包装資材 | 61,965t |
| 資本財 (事務所・設備・備品など) | 1,325t |
| 水やエネルギー供給 | 675 t |
| 輸送、配送に伴う排出量 | 17,059t* |
| 事業から出る廃棄物 | 756t |
| 従業員の出張に関わる排出量 | 273t |
| 従業員の通勤に関わる排出量 | 533t |
| 製品の使用に関わる排出量 | 99t |
| 機器製品の廃棄に伴う排出量 | 78t |

* 暫定予測値



カーボンニュートラルの社会の実現を目指して

気候非常事態ネットワークの設立

地球温暖化は深刻な状態です。温暖化問題であるとされている温室効果ガスが1990年と比較して50%も増え、現在も増加しています。温室効果ガスが増えれば増えるほど、地球からの熱の放出が少なくなるので、世界の平均気温を上昇させ、気候変動も引き起こし、台風の大型化、海面上昇による洪水や干ばつ、生態系への悪影響等甚大な被害をもたらします。その被害を防ぐために、持続可能な開発目標 (SDGs) 13の目標、気候変動とその影響にみんなで立ち向かう為の具体的な対策を取らなければなりません。

気候変動の非常事態が懸念する中、気候非常事態宣言やカーボンニュートラル (温室効果ガスの排出実質ゼロ) 社会への転換を支援する開かれたネットワークとして、「気候非常事態宣言とカーボンニュートラル社会づくり支援ネットワーク」、略称「気候非常事態ネットワーク (CEN)」の設立が東京大学名

誉教授の山本良一氏から提案され、2020年11月18日 (水) の設立総会で承認、正式に発足しました。社長の更家悠介が設立発起人委員会副委員長を務め、NPO 法人ゼリ・ジャパンがCENの事務局を担当します。

人類は深刻な気候危機に直面しており、地球温暖化がこのまま進めば、熱波、干ばつ、森林火災、洪水、巨大暴風雨など、様々な自然災害により今後50年間に世界中で数十億人が環境難民となってしまうとも言われています。

CENの活動は、この事態に対する危機感を様々な企業、自治体、大学、団体、個人などと共有し、連携して二酸化炭素排出実質ゼロ (カーボンニュートラル) の社会を実現するための挑戦を行います。



山本名誉教授

「気候非常事態とカーボンニュートラル」サミットの開催報告

2021年6月4日、弊社社長の更家悠介が発起人を務める気候非常事態ネットワーク (CEN、主催 NPO 法人 ゼリ・ジャパン) では、国や自治体、企業、大学、学会等関係者らと、「気候非常事態とカーボンニュートラル」サミットをオンライン開催しました。

サミットでは、冒頭、CEN 運営委員長の山本良一氏 (東京大学名誉教授) による開会あいさつに続き、第1部の基調講演では、CEN 事務局長兼ゼリ・ジャパン専務理事の竹内部長が、CEN の活動報告、中井徳太郎環境事務次官が国・地方脱炭素実現会議について、経済産業省資源エネルギー庁の白井俊行新エネルギーシステム課長・水素燃料戦略室長が水素社会の実現に向けた同省の取り組みについて、を講演されました。続いて、東京都の小池百合子知事のビデオメッセージを紹介、CEN の運営副委員長でゼリ・ジャパン理事長の更家悠介社長から、CEN の今後の展開について発表、更に、シブサワ・アンド・カンパニー代表取締役の澁澤健氏が「渋沢栄一に学ぶ SDGs」と題して特別記念講演を行いました。

第2部のパネル討論会に入る前に、京都芸術大学の竹村眞一先生から、スフィア (デジタル地球儀) を使った気候非常事態におけるカーボンニュートラルを目指した活動をした場合

としなかった場合の地球の温度上昇の変化をリアルに表現され、リアルに参加された方々は、カーボンニュートラルを目指さないと大変な事になることを実感されました。



パネル討論会では、サントリーホールディングス、イトーキ、三菱ガス化学及びセブン&アイホールディングスの各社の行動計画を発表。また、日本建築学会田辺真一会長、聖心女子大学 高祖学長、創価大学 馬場学長及び環境経営学会の中村顧問、長崎県壱岐市 白川市長、鳥取県北栄町の松本町長が各非常事態宣言や行動計画を紹介、続いて、CEN 学生青年委員の鳥井氏が学生から提言をされ、最後の更家悠介社長の閉会挨拶により、成功裡に終了することが出来ました。



環境事業推進部
部長 (写真:左)
竹内 光男



海の豊かさを守ろう

ブルーオーシャンプロジェクト

Blue Odyssey Porrima 2021-2025

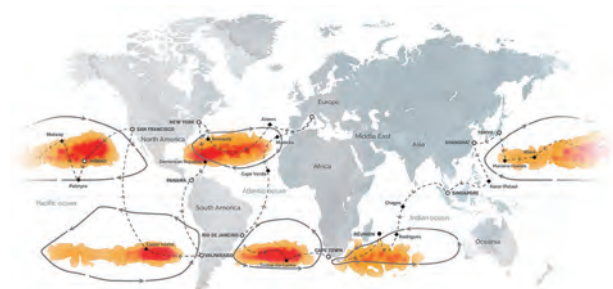
ポリマとは古代ローマの「未来の女神」の名で、風力、太陽光、水素エネルギーで動く完全自走型の大型双胴船に、この名前が付けられました。この船は、まったく石油エネルギーを使わない自走型大型船ということもあり、航海の寄港地で多くの人々の注目を浴びます。この船はスイスのレース・フォー・ウォーター財団が所有し、海洋プラスチック汚染に関する調査や啓発のため、2017年からグローバルキャンペーンを行っていました。船は東京五輪を見据え2020年に日本に立ち寄りましたが、コロナ禍の諸事情でレース・フォー・ウォーター財団と同じくスイスにあるポリマ財団に所有権が移り、2021年から「ブルー・オデッセイ」として、再スタートすることになりました。

ブルー・オデッセイプロジェクトと万博

ポリマ号は、レース・フォー・ウォーター財団が行ったプラスチック海洋汚染防止キャンペーンのレガシーを引き継ぐと共に、2022年にはモロッコで大改修を行い更にパワーアップする予定です。大改修では、世界で初めてのマイクロプラスチック回収システム、漁網を用いない泡・バブルによる漁業システム、パワーアップした水素エンジン、スカイセールなど数々のイノベーションを導入します。そして海の豊かさや恵み、持続的活用を人々に伝えると共に、プラスチック海洋汚染や気候変動、環境変化など、海が直面する課題にも向き合っており、課題解決へのキャンペーンを展開します。また科学者や起業家たちと連携し、解決策につながる新たなイノベーションを生み出します。これがブルー・オデッセイプロジェクトで、日本を起点にして、2021年より世界一周の航海に旅立ちます。ポリマ号とこのプロジェクトは、SDGs達成の貢献を目指す2025年の大阪・関西万博の公式プログラム「TEAM EXPO 2025」の共創チャレンジャーとして活動し、万博の基本テーマである「いのち輝く未来社会のデザイン」の世界各地への普及啓発を行います。ブルー・オデッセイで世界一周航海に旅立つポリマ号は、大阪・関西万博開催の最終月である2025年10月に世界一周のキャンペーンを終え、大阪に帰還する予定です。まさにポリマ号は、我々の未来への希望を託して、グローバルキャンペーンに出航します。



ポリマ号の航海の様子



レース・フォー・ウォーター号（現ポリマ号）では、すべてのごみの渦や渦の中の砂浜に立ち寄り、プラスチック汚染の調査を実施した。



2025年 大阪・関西万博の会場イメージ



テーマ

いのち輝く未来社会のデザイン
(Designing the future for our lives)

サブテーマ

- ・いのちを救う (Saving Lives)
- ・いのちに力を与える (Empowering Lives)
- ・いのちをつなぐ (Connecting Lives)

陸の豊かさも守ろう

生物多様性ホットスポット

生物多様性ホットスポット ボルネオ島

ボルネオ島は、グリーンランド、ニューギニアに続く世界で3番目に大きな島です。日本から最も近い熱帯雨林で、氷河期の影響も受けず、およそ1億年も前にできた貴重な自然には、稀に見る多種多様な生命が息づいています。島の最北部にあるマレーシア・サバ州は、特に生物多様性に富んだ地域で、その中でも特に、サバ州北東部を流れるキナバタンガン川下流域は、野生生物の宝庫となっています。

しかし現在、世界の食用需要の増加などにより、植物原料のひとつであるパーム油（アブラヤシの果実から得られる植物油）の生産が拡大。熱帯雨林を伐採してアブラヤシプランテーションが拡大するなど、ボルネオ島を中心にさまざまな環境・社会問題を引き起こしています。

野生生物と共生する

アブラヤシプランテーション（農園）

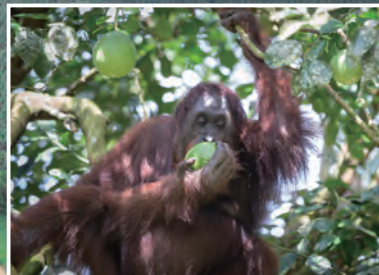
2019年12月、東京都町田市より廃棄予定の消防用ホースが、サバ州北部の「ムランキン農園」に寄贈されました（寄贈仲介：NPO法人ゼリ・ジャパン）。中古のホースは、現地に住む野生のオランウータンなどが農園を通過する際、川を渡るためのつり橋の材料となりました。

このムランキン農園では、アブラヤシ栽培と野生生物の保全を両立しています。例えば、ボルネオゾウはアブラヤシの柔らかい先端部を好んで食べます。他のプランテーションではゾウの接近を防ぐ柵を設置するなどの対策が取られるのですが、ムランキン農園では樹齢の若い木のみを保護し、樹齢の高い木には自由にゾウが近づくことができます。

ゾウは時に木を倒してしまうこともありますが、倒した木を調べると約7～8割が病原菌に冒されていたことがわかってきました。今後さらなる調査や研究が必要ですが、これまで熱帯雨林を分断していたプランテーションの新たな取り組みとして注目すべきなのかもしれません。



寄生植物、ラフレシア



野生のオランウータン



ボルネオゾウ、特徴はアフリカゾウより体と耳が小さい。

ボルネオサバ州の熱帯雨林とパーム農園



マレーシア・サバ州での環境保全プロジェクト

テレビ番組のインタビュー

サラヤは創業時から「社会問題をビジネスで解決する」ことを目指しており、時代の流れによってその問題は変化しています。高度経済成長期の1970年代は、安価で大量生産ができる石油原料の合成洗剤が主流でした。しかし、石油系洗剤の排水は非常に分解されにくく、全国の河川や湖沼などで汚染を引き起こしました。そこでサラヤは、業界に先駆けて環境への負担が少ない、ヤシの油を原料とした植物系の『ヤシノミ洗剤』を1971年より販売しています。

『ヤシノミ洗剤』やハンドソープなどの原料の1つであるパーム油は、使い勝手や生産効率の良さから世界で最も使用されている植物油で、約85%が食用として消費されています。その需要に対応するため、主要原産国であるインドネシアやマレーシアでは、熱帯雨林を伐採してアブラヤシ（パーム油の原料となる植物）のプランテーションが拡大。洪水被害や野生生物の減少など、さまざまな環境・社会問題を引き起こしています。この問題にサラヤが気付かされたのは、2004年のことでした。

2004年8月1日に放映された環境問題を取り扱うテレビ番組では、プランテーションの拡大によって、ボルネオ島の熱帯雨林に生息するボルネオゾウが生息域を追われてしまい、絶滅の危機が迫っていることが紹介されました。その番組内で、パーム油を原料とする製品を製造販売するメーカーの1社として更家悠介社長のインタビューが放送されました。その結果、ボルネオの熱帯雨林の減少がヤシノミ洗剤のせいと誤解されてしまいました。

サラヤの「ボルネオ環境保全プロジェクト」

誤解を解くため、調査員として中西宣夫氏をパーム油の主要生産国のひとつであるマレーシア・ボルネオ島に派遣し、現地調査を行いました。そこで集めた情報を基に、サラヤは2つの活動方針を立てました。まず1つは、野生動物とその生息地である熱帯雨林を守る活動を始めること。そしてもう1つは、熱帯雨林の縮小の原因になっているアブラヤシ産業の無秩序な拡大を改善することです。（P24 持続可能なパーム油のための円卓会議）



1984年当時のサバ州キナバタンガン下流域、緑色の部分は熱帯雨林。
現在の同地域、オレンジ色の部分はアブラヤシ農園、熱帯雨林は川沿いにわずかに残る。



野生動物の救出プロジェクト

住民が仕掛けた農で傷ついたゾウや、熱帯雨林が分断され孤立したオランウータンを、BCTを通じて現地の野生生物局とともに救出・治療し、森へ返しています。保護したゾウを移動させる森が見つからないため、2013年に「ボルネオ・エレファント・サンクチュアリ」としてゾウを一時的に収容できるパドックが完成。将来的には施設を増やし、見学もできる保護施設を目指しています。2021年11月現在、4頭が保護されています。



マレーシアのロカウィワイルドライフパークにて

ボルネオ保全トラストとは

ボルネオ保全トラスト = (Borneo Conservation Trust・BCT) は、マレーシア・サバ州から認められたトラストです。野生動物と熱帯雨林の保全のために、サラヤはBCT設立に関わり、BCTの日本法人であるボルネオ保全トラスト・ジャパンを通じて、「緑の回廊プロジェクト」などを支援しています。

緑の回廊プロジェクト

川辺は野生生物にとって生存の鍵となる大切な場所ですが、プランテーションの拡大によってその急速に失われています。そこで、かつて熱帯雨林だった土地を買い戻し、分断された緑（保護地）をつなぐことで「緑の回廊」を回復させる計画を、BCTを通じて行っています。

野生動物には、生息に最低限必要とされる川沿岸の森と、分断された熱帯雨林を結ぶ移動路が必要です。BCTは、サバ州キナバタンガン川沿岸の開墾地を買い戻して森に再生し、熱帯雨林を一つに結ぶ「緑の回廊計画」を推進しています。BCTが土地所有権を取得し、それを支援した団体に土地の命名権を与えることも実施しています。

サラヤは2007年から、ヤシノミシリーズなど対象商品の売上1%（※メーカー出荷額）をこの計画などに還元し、「サラヤの森」も9カ所・計29.49ha（2020年10月現在）まで広がっています。日本に暮らすわたしたち消費者が、ボルネオの環境保全に参加することができるのです。

野生動物の救出活動

急激なプランテーションの拡大により、ボルネオゾウやテングサルをはじめ、多くの貴重な動植物が絶滅の危機に晒されています。

例えば、ボルネオゾウは国際自然保護連合が作成する絶滅の危機に瀕している世界の野生動物をまとめた「レッドリスト」では、絶滅危機に分類されています。

しかし、森の減少により人間との間で様々なトラブルが増え、畑を荒らされることを嫌う農民との衝突によりケガを負う子ゾウが増えています。

そこで、BCTやサバ州野生生物局、旭山動物園園長の坂東元氏を中心に、野生動物のケガの治療、一時的な保護などの救出作業を行う「ボルネオへの恩返しプロジェクト」が立ち上がりました。

2013年には計画の第1フェーズであるボルネオゾウのレスキューセンターが完成し、サラヤも前述の売上1%の支援金の一部でこのプロジェクトを支援しています。



野生動物を救う「緑の回廊計画」

野生生物が生息するために最低限必要な川沿岸の森と、分断された熱帯雨林を結ぶ移動経路が必要です。BCTはサバ州キナバタンガン川沿岸の開墾地を買い戻して森に再生し、熱帯雨林を結ぶ緑の回廊計画を推進しています。BCTが土地所有権を取得し、それを支援した団体に土地命名権を与えることを実行しており、「サラヤの森」も9カ所まで広がっています。



「ボルネオの恩返し」プロジェクト

「野生生物レスキューセンター」では、プランテーションに迷い込んだゾウを救出し、最適な森へ帰すまでの間、一時的に保護やケガの治療などを行っています。



エジプトで生命の源たる土地の回復に挑む

エジプトで生命の源たる土地の回復に挑む

砂漠は十分な水が存在せず、乾燥し、痩せた土地です。地球規模での気候変動や、人間による過剰な放牧・森林伐採などにより、砂漠化は進行していきます。

砂漠化の影響を受けやすい乾燥地域は、地球の地表面積の約41%を占めています。その乾燥地域に住む1～6%の人々（約2,000万人～（日本とほぼ同じ人口の）1億2千万人）が砂漠化された地域に住んでいると推定されています（出展）。

砂漠化が起きると、生命が存在するには過酷な場所が生まれます。草木が生えにくくなり、そこに住む虫や小動物が減るだけでなく、貴重な家畜や穀物も育てることが難しくなり、これらを食べて生きる人達の生命もまた不安定になります。砂漠化とは、生命の源たる土地が損なわれることなのです。

乾燥した砂漠からの贈り物 ～ホホバ～

過酷な砂漠でも育つ植物、その1つがホホバです。ホホバとは、ホホバ科ホホバ属の常緑低木で、砂漠のように水が少なく痩せた土地でも育つ植物です。ただの植物ではなく、ホホバから採取される種には、ワックスエステルというオイルが多量に含まれています。このオイルには人間の皮質に似た成分が含まれていて、肌の保湿に優れた効果を発揮します。

乾燥して痩せた砂漠でも逞しく育つホホバから、優れた化粧品原料が採取できる、という発見が、サラヤが砂漠化防止となるホホバの木の植樹による緑化活動はスタートしました。この時点ではホホバは過酷な環境でも育つ一方で、優良品種の開発と普及が進んでおらず、種の生産量も増えていませんでした。2017年より、大阪大学発のベンチャー企業「株式会社シモンド」と協働で、エジプトの大地でホホバの品種改良を行い、効率的に育てることが出来る研究を開始しました。



株式会社シモンドのホホバ果樹園

ホホバオイルのビジネスを通じて社会課題を解決

エジプトのスエズ運河沿いにある経済特区内で、工場の建設プロジェクトが進んでいます。精力的に海外市場を開拓するサラヤですが、中東への本格的な進出は今回が初めてです。この工場ではホホバオイルが搾油できる製造設備を導入します。化粧品の原料となるホホバオイルの販売を通じて、ホホバの植林を推し進めて、砂漠化防止に貢献していきます。

この工場は中東市場の製造拠点として、手洗い石けん液、手指消毒剤、ラカント、ホホバオイル、化粧品を製造・販売します。一方で、エジプト工場の販路拡大の為に、アラブ首長国連邦のドバイやエジプトの首都カイロに販売会社を設立しています。中東で販売会社までを一気通貫で立ち上げて、サラヤのビジネスも地球も持続可能となるように、社員一同努力して参ります。（出展：環境省 HP 砂漠化する地球 https://www.env.go.jp/nature/shinrin/sabaku/index_1_2.html）



建設中のサラヤエジプト生産拠点完成予想図



ゴールデンホホバ（左）とホホバの苗の植樹の様子（右）

サラヤは大阪大学ベンチャーキャピタル株式会社と共同し、良質なホホバの苗を選別しエジプトの砂漠に植樹しています。その種からコールドプレス製法で高品質なゴールデンホホバオイルの搾油を始めました。ホホバオイルはヒトの皮脂に似た化学構造をもつ「ワックスエステル」であることから、肌なじみがよく優れた保湿成分として化粧品などの開発を行っています。また、ホホバの植樹による砂漠緑化を進めることで、気候変動への対策と持続可能な原料調達を両立し、エジプトでの現地雇用を進めて経済成長に寄与していきます。



平和と公正をすべての人に

ガバナンスとステークホルダー

国連グローバル・コンパクトに加盟

国連グローバル・コンパクト（UNGC）は、各企業・団体が責任ある創造的なリーダーシップを発揮することによって、社会の良き一員として行動し、世界的持続可能な成長を実現するための枠組みです。世界の172の国と地域で18581団体（2021年9月末現在）が加盟しています。サラヤは2009年6月に署名・加盟し、人権の保護、不当な労働の排除、環境への対応、そして腐敗防止に関する10の原則に賛同し、その実現に向けて、ステークホルダーの皆様と連携を深めて、取り組みを行っています。

サラヤのガバナンス

サラヤは、グローバル・コンパクトの10原則をガイドラインに、社内のコンプライアンス体制を構築し、法令順守や倫理的活動を推進しています。取締役会は、毎月1回のペースで開催し、上述の状況について、経営層へ報告しています。

| 国連グローバル・コンパクト 10 原則 | | | 記載頁 |
|---------------------|-------|-------------------------------------|----------------------|
| 人権 | 原則 1 | 企業は、国際的に宣言されている人権の保護を支持、尊重すべきである | 22, 24 |
| | 原則 2 | 企業は、自らが人権侵害に加担しないよう確保すべきである | 34, 35 |
| 労働 | 原則 3 | 企業は、結社の自由と団体交渉の実効的な承認を支持すべきである | 34 |
| | 原則 4 | 企業は、あらゆる形態の強制労働の撤廃を支持すべきである | 24 |
| | 原則 5 | 企業は、児童労働の実効的な廃止を支持すべきである | |
| 環境 | 原則 6 | 企業は、雇用と職業における差別の撤廃を支持すべきである | 12, 14 17, 20, 21 |
| | 原則 7 | 企業は、環境上の課題に対する予防原則的アプローチを支持すべきである | 16, 18, 19 |
| | 原則 8 | 企業は、環境に関するより大きな責任を率先して引き受けるべきである | 2, 3 |
| 腐敗防止 | 原則 9 | 企業は、環境に優しい技術の開発と普及を奨励すべきである | 15 |
| | 原則 10 | 企業は、強要と贈収賄を含むあらゆる形態の腐敗の防止に取り組むべきである | 34 |

お客様からの苦情は社内規定に従い、迅速で適切な対応を行って参ります。また、お客様からの貴重なご意見に関しては商品開発等、当社の会社経営に反映して参ります。

また、情報セキュリティ、法令順守等、年に1回以上従業員に対して教育訓練を実施しコンプライアンス体制の強化に努めています。

サラヤのステークホルダー エンゲージメント

| ステークホルダー | コミュニケーション窓口 | 実施時期 | 内容 | 企業活動として反映 |
|----------|-------------------|-----------------|---|-------------------------|
| 企業のお客様 | 製品ダイヤル | 平日 9:00-17:00 | 電話及びWEBでのお問い合わせに対応。 | お客様のご意見を商品開発に反映 |
| | 公式HP | 随時 | 商品情報、会社案内、事業案内を各サイトで掲載。医療従事者向けなどに感染予防サイトも実施。 | 最新の情報を更新 |
| | SNSでの発信 | 随時 | 会社案内、事業案内、商品情報を各サイトで掲載。 | 感染予防や食品衛生に貢献 |
| | 各営業本部 | 随時 | シンポジウム、セミナー等の開催。 | |
| 一般消費者 | コールセンター | 平日 9:00 ~ 17:00 | 電話及びWEBでのお問い合わせに対応。 | お客様のご意見を商品開発に反映 |
| | 公式HP | 常時 | 家庭用商品紹介サイトやブランドごとの専門サイトを設置。ご家庭での感染予防や健康情報などご紹介。 | 最新の情報を更新 |
| | SNS | 常時 | 家庭用商品紹介サイトやブランドごとの専門サイトを設置。ご家庭での感染予防や健康情報などご紹介。 | |
| 従業員 | 総務人事本部 | 随時 | 職場における悩みや各種ハラスメントでの人間関係のトラブルに関する相談窓口を設置。メールなどでの相談を受付。 | より快適な職を目指して改善 |
| 従業員の家族 | 社内報 | 年3回発行 | 社内情報、商品情報、地域情報。 | 会社と仕事への意識を高める |
| 国・行政 | 官民共同プロジェクト | 随時 | 研究開発助成、JICA 民間提案型普及・実証事業、環境情報開示基盤整備事業など。 | 現地ニーズの把握 投資家等の意見交換 |
| 地域 | 本社・工場所在地 | 随時 | 東京都品川区と東京サラヤ本社の避難所開設の協定を締結し、模擬訓練など実施。工場での見学者の受入、地域の清掃活動参加など。被災地への衛生商品支援。 | 地域社会に貢献 |
| サプライヤー | SCM 本部購買 | 随時 | 原料納入や運輸関係の企業で構成されるSF(サラヤフレンドシップ)会を組織。SF会のアブラヤシ農園や搾油工場など現地視察実施。羅漢果契約農家からの原料調達、ワイルドアジアからCSPO及びCSPKOクレジット購入。 | 持続可能性のための共通目標と相互信頼の確認 |
| 非営利団体 | 国内外のNPO、NGOと協働、支援 | 随時 | 社会貢献活動。ホルネオ保全トラスト、日本ユニセフ協会、ジョイセフなどと共同プロジェクトを実施。 | UHC、原料供給地の生物多様性の保全などに貢献 |



パートナーシップで目標を達成しよう

サラヤ本町事務所内にウガンダ共和国在大阪名誉領事館を開設

更家悠介がウガンダ共和国名誉領事に就任

更家悠介(サラヤ社長)は、ウガンダ共和国 サム・カハンバ・クテサ外務大臣の任命により、ウガンダ共和国名誉領事に就任し、サラヤ本町ビル内に在大阪ウガンダ共和国名誉領事館を開設しました。



クテサ ウガンダ共和国外務大臣と更家名誉領事

サラヤの加盟団体

| ロゴ | 英名 / 日本語名 | 関連ブランド | 開始年 | 関連する主なSDG | 目的・活動 |
|----|---|-----------------------------|------|-------------------|---|
| | グリーン購入ネットワーク | | 1996 | 12 持続可能な消費と生産 | グリーン購入に率先して取り組む企業、行政機関、民間団体等の緩やかなネットワークと情報発信。 |
| | 特定非営利活動法人 エコデザインネットワーク | | 2001 | 11 持続可能な都市とコミュニティ | モノづくり、マチづくり、地域環境づくりの立場から構想し、持続可能な社会の実現と発展に向けた活動。 |
| | ゼリ・ジャパン | | 2001 | 12 持続可能な消費と生産 | 資源を循環再利用し、廃棄物を0に近づけるゼロエミッション構想から、日本における環境教育の啓発と実践、産業クラスター(連環)の構築、循環型社会の実現。 |
| | 認定特定非営利活動法人 ボルネオ保全トラスト・ジャパン | ココパーム ハッピーエレファント ヤシノミ | 2008 | 15 陸域生態系保護 | ボルネオ保全トラストと協業し、様々なプロジェクトを通じてボルネオの自然環境保護や生物多様性保全活動、環境教育活動を実施。 |
| | 国際糖尿病連合 | ラカント | 2014 | 15 陸域生態系保護 | 国際連合が決議し、国際糖尿病連合が推進する「糖尿病との戦いのために団結せよ(Unite for Diabetes)」ブルーサークルのキャンペーン。 |
| | 一般社団法人 企業と生物多様性 イニシアティブ | | 2008 | 15 陸域生態系保護 | 多様な企業が共同で研究を進めることにより、単独の企業活動のみでは成し遂げられない成果を生み出し、真に国内外の生物多様性の保全に貢献する。 |
| | JaSPON (持続可能なパーム油 ネットワーク) | | 2019 | 12 持続可能な消費と生産 | パーム油生産における環境面などさまざまな問題を解決することを目指し、日本市場における持続可能なパーム油の調達と消費を加速させるため設立した団体。 |
| | 公益財団法人 日本ユニセフ協会 | アルソフト ウォッシュボン ハンドラボ | 2010 | 3 持続可能な健康と福祉 | 世界中の子供たちの命と健康を守るために活動する国連機関。持って生まれた可能性を十分に伸ばして成長できるように「子ども最優先」を掲げる支援活動。 |
| | セーブ・ザ・チルドレン・ ジャパン | アラウ. | 2001 | 4 質の高い教育をみんなに | 子どもたちを取り巻く問題の根本的な解決。 子どもたちの教育、保健・栄養、緊急・人道支援の活動。 |
| | 国際協力 NGO ジョイセフ | ラクトフェリンラボ | 2011 | 3 持続可能な健康と福祉 | 世界の女性が妊娠・出産によって命を落とすことなく、安全に妊娠・出産できるようにする活動。 |
| | 認定特定非営利活動法人 日本 IDDM ネットワーク | ラカント | 2006 | 3 持続可能な健康と福祉 | インスリン補充が必須な患者のために、1型糖尿病(IDDM)を「治らない」病気から「治る」病気にする。 |
| | 世界自然保護基金 WWF ジャパン | ヤシノミ | 2020 | 12 持続可能な消費と生産 | 約100か国で活動している世界最大級の環境保全団体。地球上の生物多様性を守り、人と自然が調和して生きられる未来を目指す。 |
| | 気候非常事態ネットワーク (Climate Emergency Network, CEN) | | 2020 | 13 気候変動と持続可能な開発 | 企業、自治体、大学、団体、個人などと連携して、気候非常事態宣言やカーボンニュートラル(温室効果ガスの排出実質ゼロ)社会への転換を支援するネットワーク。 |
| | 「CLOMA」クリーン・ オーシャン・マテリアル・ アライアンス | | 2021 | 12 持続可能な消費と生産 | 海洋プラスチックごみの問題解決に向け、官民一体となって業種を超えた幅広い関係者の連携を強めてイノベーションを加速するためのプラットフォーム。 |
| | 公益社団法人 日本 WHO 協会 | | 2012 | 3 持続可能な健康と福祉 | WHOが実施している活動や有益な情報を普及させることにより、健康増進に寄与。 |

会社概要

営業・生産拠点と関連会社

| | | | |
|---|---|-------|----------------|
| 国内営業 | 札幌 仙台 盛岡 新潟 福島 北関東(埼玉) 千葉 新潟 東京 八王子 横浜 町田 静岡 長野 名古屋 京都 北陸(金沢) 大阪 神戸 岡山 四国(香川) 広島 九州(福岡) 南九州(鹿児島) 沖縄 | 国内 | 25 都市 33 拠点 |
| | 大阪工場 伊賀工場 熊野食品工場 関東工場 サラヤ東莞工場、サラヤ桂林工場、 山東新華医療生物技術有限公司 | 中国 | 15 拠点 10ヶ国 |
| 生産拠点 | タイ工場 | タイ | |
| | グッドメイド工場 | マレーシア | |
| | ケンタッキー工場 | アメリカ | |
| | ウガンダ工場 | ウガンダ | |
| | フランス工場 | フランス | |
| | チュニシア工場 | チュニシア | |
| | ミステア工場 | インド | |
| | ポーランド工場 | ポーランド | |
| 研究 | バイオケミカル研究所、サラヤ微生物研究センター 食と健康研究所 | | 3 拠点 |
| | Best Sanitizers, Inc. Saraya USA, Inc. Saraya International, Inc. Saraya Canada Co., Ltd. Saraya Hygiene de Mexico S.A. de C.V. | 北米 | 32 拠点 23ヶ国 |
| Saraya Australia Pty Ltd Saraya New Zealand | オセアニア | | |
| Saraya Co., Ltd. Europe Saraya CIS LLC. Saraya Ukraine LLC. SARAYA POLAND Sp. z o.o. Saraya Europe SAS | ヨーロッパ | | |
| Saraya Korea Co., Ltd. Saraya (Shanghai) Biotech Co., Ltd. Saraya (Hong Kong Sales) Co., Limited Saraya HongKong Co., Limited Taiwan Saraya Hygiene Co., Ltd. Saraya International (Thailand) Co., Ltd. Saraya Goodmaid Sdn. Bhd. Saraya Hygiene Malaysia Sdn. Bhd. Saraya Greentek Co., Ltd. Hanoi Representative Office Saraya (Cambodia) Co., Ltd. Saraya Myanmar Co., Ltd. Saraya India Private Limited Saraya Mystair Hygiene Pvt. Ltd. Goodmaid Chemicals Corporation Sdn. Bhd. | アジア | | |
| 海外拠点 | Saraya Manufacturing (U) Ltd. Saraya Kenya Co., Ltd. Saraya Beauté et Sante Saraya Middle East for Industrial Investment J.S.C. Saraya Middle East Trading DMCC | アフリカ | |

(2020年10月末現在)すべての拠点は市街、工業地区にあります。

会社概要

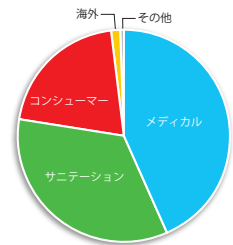
| | | | |
|------|---------------------------------|----------------------------------|---------------------------------|
| 社名 | サラヤ株式会社 | 東京サラヤ株式会社 | スマイル産業株式会社 |
| 創業 | 1952年 | | |
| 設立 | 1959年 | 1969年 | 1983年 |
| 本社住所 | 〒546-0013 大阪市東住吉区湯里 2-2-8 | 〒140-0002 東京都品川区東品川 1-25-8 | 〒582-0028 大阪府柏原市玉手町 24-12 |
| 代表 | 06-6797-3111 | 03-5461-8101 | 072-978-7800 |
| 資本金 | 4,500万円 | 6,000万円 | 3,000万円 |

※ 創業は前身である三恵薬糧として創業した1952年、設立は三恵薬糧の一切の業務を引継いでサラヤ化学工業株式会社を設立した1959年とした。1984年、「自然派のサラヤ」を目指し、サラヤ株式会社と社名変更した。

事業部別売上

| 事業本部 | 売上(億円) | 比率 |
|---------|--------|-------|
| メディカル | 331 | 43.6% |
| サニテーション | 259 | 34.1% |
| コンシューマー | 156 | 20.5% |
| 海外 | 11 | 1.4% |
| その他 | 3 | 0.4% |

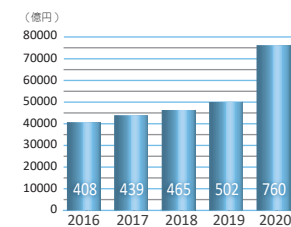
■ メディカル事業本部
 ■ 海外事業本部
■ サニテーション事業本部
 ■ その他
■ コンシューマー事業本部



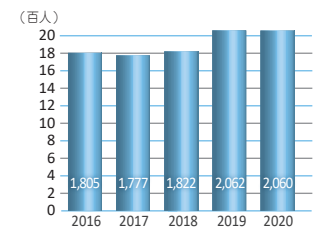
2020年度事業本部売上比率

年間売上高と従業員数

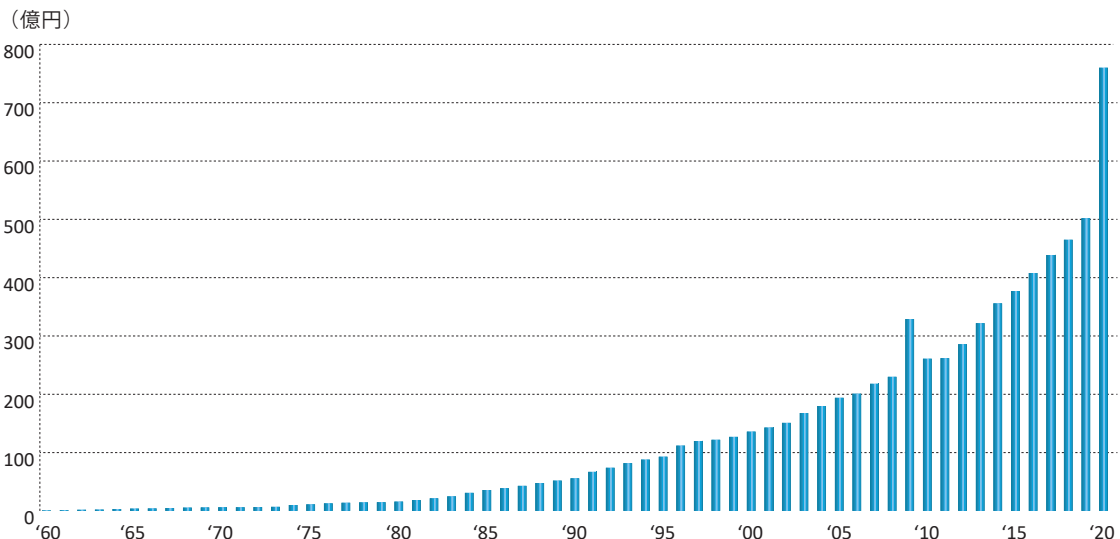
サラヤ株式会社 632億円 1,639人
(2020年10月末現在) 連結3社 760億円 2,060人



過去5年の連結売上高の推移



過去5年の連結従業員数の推移



サラヤ3社連結の1960年から2020年までの年間売上高の推移

持続可能性レポート 2021

Sustainability Report

発行日 ■ 2021年12月
発行 ■ サラヤ株式会社
編集・デザイン ■ サラヤ株式会社 横山 聡 中野 正浩 豊生 朋華
お問い合わせ ■ サラヤ株式会社
〒546-0013
大阪市東住吉区湯里 2-2-8
TEL. (06) 6797-3111
FAX. (06) 6700-6656

ホームページ ■ <https://www.saraya.com/csr/report/> ▶





We are committed to the SDGs!

Sustainability Report 2021



ミックス
責任ある木質資源を
使用した紙
FSC® C014687